

平成 29 年度

---

# FD 活動・研究報告書



岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学

平成29年度 FD活動・研究報告書		ページ
<b>1. はじめに</b>		
1-1	FD活動の今年度の総括について	2
<b>2. 大学・短大FD委員会関係</b>		
2-1	平成29年度大学・短大FD委員会実施一覧	5
<b>3. 授業アンケート関係</b>		
平成29年度前期		
3-1	「学生による授業アンケート」(前期)の実施について	7
3-2	授業アンケート記入用紙(前期)	8
3-3	授業アンケート実施一覧(大学前期)	10
3-4	授業アンケート実施一覧(短大前期)	14
3-5	授業アンケート実施結果(大学全科目)	21
3-6	授業アンケート実施結果(短大全科目)	22
3-7	授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について	23
3-8	授業アンケートによる自己点検報告書(前期)	24
平成29年度後期		
3-9	「学生による授業アンケート」(後期)の実施について	25
3-10	授業アンケート記入用紙(後期)	26
3-11	授業アンケート実施一覧(大学後期)	28
3-12	授業アンケート実施一覧(短大後期)	32
3-13	授業アンケート実施結果(大学全科目)	38
3-14	授業アンケート実施結果(短大全科目)	39
3-15	授業アンケートによる自己点検報告書(後期)	40
<b>4. FD研修会関係</b>		
4-1	平成29年度FD研修会について	42
4-2	第1回FD研修会用紙	43
4-3	第2回FD研修会用紙	44
4-4	第3回FD研修会用紙	45
<b>5. 授業公開関係</b>		
5-1	平成29年度授業公開の実施について	52
5-2	授業公開コメント・自己評価用紙	54
5-3	「授業公開」実施結果	55
<b>6. ICT利用促進関係</b>		
6-1	ICT利用促進WGからの報告(まとめ)	59
<b>7. おわりに</b>		
7-1	FD活動の今年度の総括と次年度の課題について	60

## はじめに ～FD活動の今年度の総括について～

FD委員会

本学では、大学・短大それぞれの建学の精神に則り全学の3つのポリシーを定め、効果的かつ実質的な教育・研究活動及び地域貢献活動に繋げるため、教育等に関する様々なデータを分析し、教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るFD委員会を設置している。FD委員会において企画した学内外の講師による「研修会」を行っている。また、「授業公開」、「授業アンケート」の実施とともに各教員が自己点検・評価することで、教育研究活動を一層向上させるよう努めている。

FD委員会は、大学と短大の合同組織であり、自己点検・評価委員会、教務委員会、その他関係部署との連携のもと、全学で教育目的の達成のために情報の共有や業務の連携を図っている。また、FD委員会の主導により、「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」を実施し、教育改善に取り組んでいる。詳細は、以下のとおりである。

学生による「授業アンケート」は、前期、後期ともに授業の13～15週の期間中に、すべての科目を対象として実施した（ゼミ及び受講生10名未満の科目も含む）。アンケートは、19項目の質問（5段階のリッカートスケール、但し予復習時間と難易度の2項目を除く）と授業に関する感想や意見の自由記述となっている。なお、平成26年度に授業アンケートの内容の改善を図り、26年度後期より新しい内容とし、27年度から引き続き実施している。設問項目は、①学生自身について、②授業について、③授業方法、教員について、④教育効果について、を下位領域とする19項目であり、自由記述として①授業で良かったと思う点、②教室・校舎等の環境改善への要望、となっている。専任教員の担当授業におけるアンケート実施度は高く、ほぼ全員が実施している。学期の終了後、集計結果データが授業担当教員に返却され、各教員が「授業アンケートによる自己点検報告書」を作成し、教務課に提出する。当報告書には、授業アンケートによる自己点検結果として、前回のアンケート結果を受け、28年度より“改善を試みた点”および今回の授業アンケート結果で“優れていた点・改善すべき点”を中心に記入することとし、各教員が教育目的の達成状況を自己点検するとともに、今後の授業改善方法の検討に活かしている。また、FD委員会において、実施状況や結果が報告され、大学全体としての課題や改善点について検討し、FD研修会や授業改善のための勉強会のテーマとしてつなげている。

「授業公開」の実施期間は、28年度より年間を通しての実施としている。25年度は任意実施であったが、26年度より原則専任教員は全員実施へと強化している（非常勤講師は任意）。授業公開は、継続的に行うことにより、日常的な授業におけるその内容・方法について教職員をはじめ、その他の人々による情報交換を行い、授業改善に資することを目的として実施している。また、教育内容の充実や教員としての教育力向上を目指すねらいもある。授業参観者は、授業公開者に参観希望を事前に連絡し、参観後は「授業公開コメン

ト・自己評価用紙」(上部)に意見や感想等を記入し、公開者に提出する。公開者は、その内容をふまえ同用紙(下部)に改善点等を記述し、教務課に提出する。26年度の手続きの煩雑さを改善し、27年度より授業公開・参観実施率が向上している。このような取り組みを通して、各教員が自らの授業を公開し、中立的・客観的にピアレビューを受けることにより、授業運営の改善に活かしている。

「FD研修会」について26年度より職員対象のSD委員会とも連携し、教職員両方が対象の研修会の形で実施することを試みている。建学の精神から3ポリシー、カリキュラムから教育内容・方法及び学修指導等の改善につながる構造の共通理解を図っている。また、学内外の講師による教育方法の改善に向けた研修を行い、教職員の事後のコメントにある様に一定の成果を得ている。各科目の授業内容の検証を授業アンケートから、学生生活全般の検証を学生満足度アンケートから行うことが可能となるので、IRを設置するなどして、調査結果の分析・評価を各学科や関係部署に伝達し、授業運営や学修環境、学生の理解度等の具体的な課題を共有し解決していく体制づくりが必要である。

上記の「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」の実施については、FD委員会の中のワーキンググループが中心となって企画し、FD委員会での検討を経て教授会、学部・学科会議で周知され全学的に実施されている。また、実施された取り組みの結果は、授業担当者及び関係部署に適宜フィードバックされ、情報の共有化とともに共通認識の醸成を図っている。

## 2. 大学・短大FD委員会関係

平成29年度は計11回委員会を開催した。

実施日及び議題を次頁に掲載する。



	実施日 出席人数	主な議題
第1回	H.29.4.14 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開の実施について（依頼文の配布）</li> <li>・授業アンケートによる自己点検報告書の配布について</li> </ul>
第2回	H29.5.17 7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会ワーキンググループの構成について</li> <li>・授業アンケート質問用紙の改善について</li> <li>・授業アンケートに基づいた教員による授業改善状況の把握について（PDC「A」への取組み等）</li> <li>・授業アンケートと第三者評価のシステムとの対応について</li> </ul>
第3回	H29.6.14 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学長裁量経費による、教員向けアンケート実施について</li> </ul>
第4回	H29.7.12 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートとDPとの関連項目について</li> <li>・授業アンケートと日本高等教育評価機構及び短大基準協会との関連について</li> </ul>
第5回	H29.9.13 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期授業公開の実施状況について</li> </ul>
第6回	H29.10.11 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開の現状と今後について</li> </ul>
第7回	H29.11.8 9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の事業計画について</li> <li>・「授業公開」の改称と、コメントの提出形態およびフォーマットの改善について</li> </ul>
第8回	H29.12.13 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回FD研修会の実施について</li> <li>・第3回FD研修会の実施について</li> <li>・平成30年度事業計画について</li> <li>・授業参観コメント用紙について</li> </ul>
第9回	H30.1.10 7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業公開」から「授業参観」への移行について</li> <li>・授業参観コメント用紙について</li> <li>・第3回FD研修会の実施について</li> <li>・次年度FD研修課題「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」への対応</li> </ul>
第10回	H30.2.14 7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による授業アンケートについて</li> </ul>
第11回	H30.3.14 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観コメントのフォーマット案</li> </ul>

### 3. 授業アンケート関係

平成29年度は前期・後期の2度授業アンケートを実施した。

実施した内容とその結果を示す資料を次頁以降に掲載する。



平成29年7月3日

岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学  
学長 林 陽子

## 「学生による授業アンケート」(前期)の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

#### 2 実施期間

前期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

#### 3 実施する授業

全ての授業科目(全コマ)で実施してください。

(但し、受講者10名未満の授業科目は、自由記述のみのアンケート用紙を使用します。また、ゼミナールは、使用するアンケート用紙を教員にて選択し、実施してください。(別紙案内文をご覧ください。))

#### 4 実施方法

- ・ 必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- ・ 授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- ・ 回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- ・ アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。(各先生は回収作業には関与しないでください。)
- ・ 回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。(教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。)

#### 5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。なお、ご提出頂いた報告書は、学修支援センターにて公表されますので、ご承知おきください。

問い合わせ先： 教務課



## 学生による授業アンケート

実施日 年 月 日

このアンケートは学生の視点を活用して、本学の授業の改善を図るためのものです。

- 調査は無記名で行い、個々の回答内容について公開されることはありません。
- 回答内容が成績に影響することはありません。
- 学生それぞれが、大学を構成する重要な一員として、本学の教育をより良いものにするという意識のもとに、率直に回答してください。
- 回答内容（数値データ）に関しては、ファイルにまとめ、授業担当者だけでなく、学生や教職員が学修支援センターで閲覧できるようにするとともに、教育環境の改善をする上での大切な資料とします。

■ 授業科目、教員氏名、あなたの学年クラスを記入してください。

授業科目			
教員氏名			
あなたの学年クラス	年	月	クラス

■ 1 から 19 の設問について、5 段階評価でもっとも適切な番号に○をつけてください。

### 【設問項目】

選択基準： 5 そう思う 4 少し思う  
3 どちらともいえない 2 あまり思わない  
1 そう思わない

#### 1 あなた自身について

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 1 あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。                                       | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。<br>⑤ 4時間以上 ④ 3時間 ③ 2時間 ② 1時間<br>① 30分以下 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 4 あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。                                  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

#### 2 授業について

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 授業内容（シラバス）や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。             | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？                 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 課題の内容や量は適切でしたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 授業内容の難易度は適切でしたか。<br>⑤ 非常に難しい ④ 難しい ③ 適切 ② やさしい<br>① 非常にやさしい | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

3 授業方法、教員について

9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	5	4	3	2	1
10 教員の説明は分かりやすかったですか。	5	4	3	2	1
11 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	5	4	3	2	1
12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。	5	4	3	2	1
13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	5	4	3	2	1
14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	5	4	3	2	1

4 教育効果について

17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	5	4	3	2	1
18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	5	4	3	2	1
19 授業は全体として満足できるものでしたか。	5	4	3	2	1

■ 自由記述

○ この授業で評価すべき点、改善すべき点、気づいた点などについて書いてください。

○ 教室の設備や校舎の環境などについて改善を要望するようなことがありましたら書いてください。

## 授業アンケート実施一覧(大学前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
001	長柄孝彦	火	4	2ST	声楽 I	8
002	長柄孝彦	月	1	3S	幼児音楽 I	29
003	長柄孝彦	月	2	3T	幼児音楽 I	29
004	小宮富子	火	2	1S	基礎演習	23
005	小宮富子	金	2	1S	英語 I	23
006	小宮富子	火	1	2ST・3ST・4ST	英語総合(中級)	32
007	矢藤誠慈郎	水	1	1ST	保育原理	87
008	矢藤誠慈郎	木	5	2ST	教育・保育課程論	72
009	矢藤誠慈郎	水	2	3ST	専門ゼミナール I	4
010	赤羽根有里子	火	3	2ST	日本文学	1
011	赤羽根有里子	金	3	1S	保育内容演習「言葉」	46
012	赤羽根有里子	金	4	1T	保育内容演習「言葉」	42
013	赤羽根有里子	火	2	3T	児童文化	27
014	赤羽根有里子	木	4	4ST	児童文学	82
015	赤羽根有里子	水	2	3ST	専門ゼミナール I	6
016	赤羽根有里子	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	6
017	上田信道	火	3	2ST	日本文学	1
018	上田信道	金	1	1S	文章表現法	47
019	上田信道	金	2	1T	文章表現法	42
020	上田信道	木	2	3S	児童文化	29
021	上田信道	木	4	4ST	児童文学	82
022	上田信道	水	2	3ST	専門ゼミナール I	3
023	上田信道	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	4
024	小野隆	月	3	1T	体育 I	42
025	小野隆	月	4	1S	体育 I	46
026	小野隆	木	4	3ST	専門ゼミナール I	3
027	小野隆	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
028	中田基昭	火	4	1ST	子ども学総論	88
029	中田基昭	火	5	2ST	教育学概論	71
030	中田基昭	水	2	3ST	専門ゼミナール I	3
031	中田基昭	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	7
032	白石さや	木	2	1T	基礎演習	21
033	白石さや	火	4	1ST	子ども学総論	88
034	白石さや	水	2	3ST	専門ゼミナール I	6
035	白石さや	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	4
036	佐善圭	月	1	1S	造形 I	46
037	佐善圭	月	4	1T	造形 I	42
038	佐善圭	金	1	2T	造形Ⅲ	35
039	佐善圭	金	2	2S	造形Ⅲ	35
040	佐善圭	水	2	3ST	専門ゼミナール I	6
041	佐善圭	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	7
042	大岩みちの	火	4	1ST	子ども学総論	88
043	大岩みちの	金	1	1T	保育内容総論	42

## 授業アンケート実施一覧(大学前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
044	大岩 みちの	金	4	1S	保育内容総論	46
045	大岩 みちの	木	4	3ST	専門ゼミナール I	4
046	大岩 みちの	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	7
047	権 洵 珠	木	3	2T	相談援助 I	34
048	権 洵 珠	木	4	2S	相談援助 I	34
049	権 洵 珠	水	2	3ST	専門ゼミナール I	3
050	権 洵 珠	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	3
051	白垣 潤	金	3	3T	障がい児保育 I	28
052	白垣 潤	金	4	3S	障がい児保育 I	28
053	白垣 潤	木	2	4ST	特別支援教育	74
054	白垣 潤	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
055	小原 倫子	火	4	1ST	子ども学総論	88
056	小原 倫子	月	2	1ST	教育と発達の心理学 I	88
057	小原 倫子	水	2	3ST	専門ゼミナール I	5
058	小原 倫子	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
059	吉村 讓	木	3	3S	保育実習指導 I b	29
060	吉村 讓	木	4	3ST	専門ゼミナール I	2
061	吉村 讓	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
062	岸本 美紀	火	1	1T	乳児保育 I	41
063	岸本 美紀	金	4	2T	教育実習指導 I	36
064	岸本 美紀	金	2	3T	保育実習指導 I a	27
065	岸本 美紀	水	2	3ST	専門ゼミナール I	3
066	岸本 美紀	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
067	鈴木 方子	木	3	1S	乳児保育 I	46
068	鈴木 方子	金	3	2S	教育実習指導 I	34
069	鈴木 方子	金	2	3S	保育実習指導 I a	29
070	鈴木 方子	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	5
071	北浦 恒人	火	1	1S	音楽 I	47
072	北浦 恒人	火	2	1T	音楽 I	42
073	北浦 恒人	木	4	2T	基礎音楽Ⅲ	32
074	北浦 恒人	火	3	3ST	表現創作(作曲)	24
075	北浦 恒人	金	2	4ST	実践音楽演習	51
076	北浦 恒人	水	2	3ST	専門ゼミナール I	5
077	北浦 恒人	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	7
078	仲田 勝美	木	4	3ST	専門ゼミナール I	2
079	花田 経子	月	1	1T	情報処理 I	42
080	花田 経子	月	3	1S	情報処理 I	46
081	花田 経子	火	2	4ST	教育調査と統計	4
082	花田 経子	水	2	3ST	専門ゼミナール I	2
083	花田 経子	水	1	4ST	専門ゼミナールⅢ	7
084	蜂須賀 涉	火	3	1ST・2ST	数学の基礎	47
085	蜂須賀 涉	火	2	1S	基礎演習	23
086	宇都宮 森和	月	3	2ST・3ST	科学と人間	3

## 授業アンケート実施一覧(大学前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
087	宇都宮 森和	木	2	1T	基礎演習	21
088	山田 光治	月	2	2ST	家庭支援論	69
089	山田 光治	木	3	3T	保育実習指導 I b	27
090	西川 由美子	水	2	2S	保育内容演習「環境」I	34
091	平尾 憲嗣	金	2	4ST	実践音楽演習	51
092	笹瀬 佐代子	木	2	3T	女性のキャリアとマナー	28
093	山田 悠莉	火	3	4ST	表現創作(ダンス)	17
094	米窪 洋介	金	4	4ST	実践造形演習	27
095	日野水 憲	金	3	1T	英語 I	21
096	岩田 愛	木	1	2ST	ジェンダー論	69
097	岡田 泰枝	木	3	4ST	幼小連携論	82
098	岡田 良美	火	2	2ST	子どもの保健 I	72
099	加藤 早苗	水	1	2S	保育内容演習「人間関係」I	34
100	加藤 早苗	水	2	2T	保育内容演習「人間関係」I	35
101	金 昭鏑	木	1	3ST・4ST	韓国語(入門)	27
102	久保原 信司	火	4	3ST・4ST	ポルトガル語(入門)	4
103	佐藤 由美	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	34
104	佐藤 由美	木	4	2T	基礎音楽Ⅲ	32
105	佐部利 弦	火	1	1S	音楽 I	47
106	佐部利 弦	火	2	1T	音楽 I	42
107	竹内 典夫	木	2	2ST	日本国憲法	68
108	武田 康代	金	1	2S	子どもの食と栄養 I	34
109	武田 康代	金	2	2T	子どもの食と栄養 I	35
110	西濱 由有	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	34
111	西濱 由有	木	4	2T	基礎音楽Ⅲ	32
112	原田 裕貴	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	34
113	麓 洋介	火	1	1S	音楽 I	47
114	麓 洋介	火	2	1T	音楽 I	42
115	堀 初枝	月	1	3S	幼児音楽 I	29
116	堀 初枝	月	2	3T	幼児音楽 I	29
117	堀 初枝	金	2	4ST	実践音楽演習	51
118	松尾 由希子	集中	—	2ST	教育史	8
119	本山 益子	金	3	3S	保育内容演習「表現」I	29
120	本山 益子	金	4	3T	保育内容演習「表現」I	27
121	山内 敦子	火	1	1S	音楽 I	47
122	山内 敦子	火	2	1T	音楽 I	42
123	山田 千穂子	火	2	3S	女性のキャリアとマナー	30
124	白鳥 清子	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	34
125	白鳥 清子	木	4	2T	基礎音楽Ⅲ	32
126	Robert James Lowe	金	1	3ST・4ST	オーラル・イングリッシュ(初級)	1
127	牧原 東吾	水	1	2T	保育内容演習「環境」I	35
128	和田 直子	木	2	1S	保育内容演習「健康」	46
129	和田 直子	木	3	1T	保育内容演習「健康」	42

● 3-4 授業アンケート実施一覧 (大学前期)



授業アンケート実施一覧(大学前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
130	周素芬	火	1	2ST・3ST・4ST	中国語(入門)	26
131	加藤みゆき	金	2	1S	英語 I	23
132	加藤みゆき	金	3	1T	英語 I	21
133	岡田摩紀	金	4	2S	体育実技 I	34
134	岡田摩紀	金	5	2T	体育実技 I	34

## 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
135	林 陽子	水	1	1C	乳児保育 I	42
136	林 陽子	水	2	1A	乳児保育 I	42
137	矢藤 誠慈郎	火	1	1EG	保育原理	68
138	赤羽根 有里子	金	1	1C	日本語表現	42
139	上田 信道	木	1	3G	児童文化演習	40
140	小野 隆	木	5	2ABCD	レクリエーション演習	38
141	小野 隆	月	1	3E	保育内容演習(健康)	41
142	小野 隆	月	2	3G	保育内容演習(健康)	40
143	権 法珠	金	1・2	2A	保育実習指導 I	42
144	白垣 潤	木	1	2E	障害児保育 I	44
145	吉村 讓	水	2	1CD	社会福祉	85
146	吉村 讓	金	1・2	2D	保育実習指導 I	44
147	仲田 勝美	水	1	1AB	社会福祉	86
148	仲田 勝美	月	2	1EG	社会福祉	68
149	仲田 勝美	月	3	2B	相談援助	41
150	仲田 勝美	水	2	2E	相談援助	44
151	仲田 勝美	金	1・2	2B	保育実習指導 I	41
152	花田 経子	月	2	1A	情報基礎演習 I	42
153	妹尾 美智子	金	3	2B	幼児音楽 I	41
154	妹尾 美智子	金	4	2D	幼児音楽 I	44
155	妹尾 美智子	月	3	1C	基礎音楽 I	42
156	妹尾 美智子	月	4	1A	基礎音楽 I	42
157	妹尾 美智子	月	5	1D	基礎音楽 I	43
158	妹尾 美智子	水	1	1E	基礎音楽 I	34
159	妹尾 美智子	水	2	1G	基礎音楽 I	33
160	鳥居 恵治	月	2	2B	健康とスポーツ(実技)	40
161	鳥居 恵治	火	4	2D	健康とスポーツ(実技)	44
162	鳥居 恵治	金	3	2A	健康とスポーツ(実技)	42
163	鳥居 恵治	月	1	2E	幼児体育 I	44
164	鳥居 恵治	金	2	3E	子どもの研究 II	41
165	大倉 健太郎	水	2	2ABCD	子どもの研究 I	13
166	大倉 健太郎	木	3	1AB	保育者論	84
167	大倉 健太郎	木	4	1CD	保育者論	85
168	大倉 健太郎	月	1	1EG	教育原理	67
169	大倉 健太郎	火	3	2CD	教育方法論	87
170	大倉 健太郎	火	4	2AB	教育方法論	82
171	真木 弘	金	1	3E	健康とスポーツ(実技)	41
172	真木 弘	金	2	3G	健康とスポーツ(実技)	39
173	真木 弘	火	1	2MP	スポーツ実技 II	38
174	築山 高彦	月	2	2C	相談援助	42
175	築山 高彦	月	1	2AB	社会的養護	83
176	築山 高彦	金	1・2	2C	保育実習指導 I	42
177	西川 由美子	月	2	3E	保育実習指導 I・II	41

## 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
178	西川 由美子	土	2	2E	教育実習(事前・事後指導を含む。)	44
179	後藤 直美	金	1	3G	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	39
180	後藤 直美	水	1	2E	保育内容演習(環境)	44
181	後藤 直美	水	2	2G	保育内容演習(環境)	42
182	後藤 直美	土	1	2G	教育実習(事前・事後指導を含む。)	42
183	梅下 弘樹	火	3	2A	障害児保育Ⅰ	42
184	梅下 弘樹	火	5	2B	障害児保育Ⅰ	41
185	梅下 弘樹	木	2	2G	障害児保育Ⅰ	42
186	梅下 弘樹	金	4	1A	基礎演習	42
187	梅下 弘樹	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅰ	4
188	梅下 弘樹	金	2	3E	子どもの研究Ⅱ	41
189	梅下 弘樹	木	3	2C	発達と教育の心理学演習	42
190	梅下 弘樹	金	3	2D	発達と教育の心理学演習	44
191	鈴木 穂波	金	2	1E	基礎演習	35
192	鈴木 穂波	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅰ	15
193	鈴木 穂波	木	1	1C	保育内容演習(言葉)	42
194	鈴木 穂波	金	3	1A	保育内容演習(言葉)	42
195	鈴木 穂波	火	2	1E	保育内容演習(言葉)	35
196	鈴木 穂波	木	2	3E	児童文化演習	41
197	鈴木 穂波	火	3	2B	児童文化演習Ⅰ	40
198	鈴木 穂波	木	4	2A	児童文化演習Ⅰ	42
199	山下 晋	木	4	2C	健康とスポーツ(実技)	42
200	山下 晋	火	2	1B	幼児体育Ⅰ	41
201	山下 晋	木	2	1A	幼児体育Ⅰ	42
202	山下 晋	木	3	1C	幼児体育Ⅰ	42
203	山下 晋	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅰ	16
204	山下 晋	火	1	1D	保育内容演習(健康)	43
205	山下 晋	火	3	1A	保育内容演習(健康)	42
206	平尾 憲嗣	火	4	2C	幼児音楽Ⅰ	43
207	平尾 憲嗣	火	5	2A	幼児音楽Ⅰ	42
208	平尾 憲嗣	金	4	2D	幼児音楽Ⅰ	44
209	平尾 憲嗣	月	4	1A	基礎音楽Ⅰ	42
210	平尾 憲嗣	金	1	1B	基礎音楽Ⅰ	41
211	平尾 憲嗣	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅰ	15
212	平尾 憲嗣	月	1	3G	子どもの研究Ⅱ	40
213	笹瀬 佐代子	土	1	2E	子どもの研究Ⅱ	43
214	笹瀬 佐代子	土	2	2G	子どもの研究Ⅱ	42
215	笹瀬 佐代子	水	1	2MP	コミュニケーション論	22
216	笹瀬 佐代子	木	3	1MP	サービス接遇検定講座	37
217	野田 美樹	金	2	1G	基礎演習	33
218	野田 美樹	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅰ	16
219	野田 美樹	月	1	3G	子どもの研究Ⅱ	40
220	野田 美樹	月	3	1D	保育内容総論	43



## 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
221	野田美樹	金	3	1C	保育内容総論	42
222	野田美樹	火	2	1A	教育実習(事前・事後指導を含む。)	42
223	野田美樹	火	4	1B	教育実習(事前・事後指導を含む。)	41
224	滝沢ほだか	金	3	2B	幼児音楽 I	41
225	滝沢ほだか	木	1	2G	幼児音楽 I	42
226	滝沢ほだか	木	2	2E	幼児音楽 I	44
227	滝沢ほだか	金	1	1B	基礎音楽 I	41
228	滝沢ほだか	水	2	2ABCD	子どもの研究 I	14
229	滝沢ほだか	火	1	2AB	保育内容演習(表現)	83
230	滝沢ほだか	火	1	3E	保育内容演習(表現)	41
231	滝沢ほだか	火	2	2CD	保育内容演習(表現)	86
232	滝沢ほだか	火	2	3G	保育内容演習(表現)	40
233	山田悠莉	月	1	1A	パフォーミングボディ	42
234	山田悠莉	月	2	1C	パフォーミングボディ	42
235	山田悠莉	月	4	1B	パフォーミングボディ	41
236	山田悠莉	金	4	1C	基礎演習	42
237	山田悠莉	水	2	2ABCD	子どもの研究 I	16
238	山田悠莉	火	1	2AB	保育内容演習(表現)	83
239	山田悠莉	火	1	3E	保育内容演習(表現)	41
240	山田悠莉	火	2	2CD	保育内容演習(表現)	86
241	山田悠莉	火	2	3G	保育内容演習(表現)	40
242	丸山笑里佳	木	4	1B	基礎演習	41
243	丸山笑里佳	水	2	2ABCD	子どもの研究 I	13
244	丸山笑里佳	火	2	2B	発達と教育の心理学演習	41
245	丸山笑里佳	金	4	2A	発達と教育の心理学演習	42
246	丸山笑里佳	金	1	2G	発達と教育の心理学演習	43
247	丸山笑里佳	金	2	2E	発達と教育の心理学演習	43
248	丸山笑里佳	木	1	3E	保育カウンセリング	41
249	丸山笑里佳	木	2	3G	保育カウンセリング	40
250	米窪洋介	火	2	2A	幼児造形 II	42
251	米窪洋介	月	1	2G	幼児造形 II	42
252	米窪洋介	月	2	2E	幼児造形 II	44
253	米窪洋介	火	3	1C	基礎造形	42
254	米窪洋介	火	4	1A	基礎造形	42
255	米窪洋介	金	2	1D	基礎造形	43
256	米窪洋介	金	3	1B	基礎造形	41
257	米窪洋介	水	2	2ABCD	子どもの研究 I	15
258	横田典子	木	4	2D	幼児造形 II	44
259	横田典子	金	3	2C	幼児造形 II	43
260	横田典子	金	4	2B	幼児造形 II	41
261	横田典子	木	1	1G	基礎造形	33
262	横田典子	木	2	1E	基礎造形	34
263	横田典子	水	2	2ABCD	子どもの研究 I	16

## 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
264	横田典子	火	1	2AB	保育内容演習(表現)	83
265	横田典子	火	1	3E	保育内容演習(表現)	41
266	横田典子	火	2	2CD	保育内容演習(表現)	86
267	横田典子	火	2	3G	保育内容演習(表現)	40
268	渡部努	金	1・2	2A	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	42
269	渡部努	金	1・2	2B	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	41
270	渡部努	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅰ	16
271	渡部努	木	1	1E	保育内容総論	35
272	渡部努	木	2	1G	保育内容総論	33
273	渡部努	月	1	1C	保育内容演習(健康)	42
274	渡部努	月	2	1B	保育内容演習(健康)	41
275	鈴木文代	金	1・2	2C	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	42
276	鈴木文代	金	1・2	2D	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	44
277	櫻井貴大	木	3	1D	基礎演習	43
278	櫻井貴大	木	2	1B	保育内容総論	42
279	櫻井貴大	木	4	1A	保育内容総論	42
280	櫻井貴大	月	4	2D	児童文化演習Ⅰ	45
281	櫻井貴大	火	5	2C	児童文化演習Ⅰ	42
282	櫻井貴大	月	2	1D	教育実習(事前・事後指導を含む。)	43
283	櫻井貴大	火	4	1C	教育実習(事前・事後指導を含む。)	42
284	市原潔	—	—	1MP	インターンシップ	36
285	市原潔	水	2	1MP	キャリアデザインⅠ	47
286	市原潔	火	4	2MP	キャリアデザインⅡ	50
287	市原潔	木	4	2MP	情報処理Ⅰ	31
288	市原潔	木	2	1MP	教養ゼミナール	13
289	市原潔	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	2
290	市原潔	月	3	2MP	コンピュータ資格講座	23
291	鈴木仁人	金	1	1D	日本語表現	43
292	鈴木仁人	土	1	1G	日本語表現	33
293	鈴木仁人	土	2	1E	日本語表現	35
294	鈴木仁人	金	3	1MP	文章表現基礎	48
295	日野水憲	水	1	1MP	外国語コミュニケーションⅠ	46
296	祝田学	火	3	2MP	経営実務演習Ⅱ	50
297	祝田学	木	4	1MP	マネジメント論	48
298	祝田学	火	4	1MP	経営組織入門	32
299	祝田学	月	3	1MP	マーケティング論	34
300	祝田学	木	2	1MP	教養ゼミナール	12
301	祝田学	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	7
302	祝田学	月	4	2MP	図書館制度・経営論	13
303	河合晋	火	2	1M	簿記原理Ⅰ	25
304	河合晋	火	3	1P	簿記原理Ⅰ	23
305	河合晋	月	2	1MP	会計学入門	34
306	河合晋	木	2	1MP	教養ゼミナール	12

## 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
307	河合 晋	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	14
308	河合 晋	火	5	1MP	簿記検定講座Ⅰ	26
309	町田 由徳	火	3	2MP	経営実務演習Ⅱ	50
310	町田 由徳	火	5	2MP	CADオペレーションⅡ	12
311	町田 由徳	木	1	1MP	基礎デザイン論	26
312	町田 由徳	金	3	2MP	グラフィックデザイン	25
313	町田 由徳	金	1	1MP	生活用品デザイン	19
314	町田 由徳	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	8
315	黒野 伸子	月	4	1MP	医学一般	48
316	黒野 伸子	金	2	1MP	診療報酬請求論Ⅰ	42
317	黒野 伸子	水	2	2MP	診療報酬請求実務Ⅱ	25
318	黒野 伸子	木	5	1MP	医療保障制度概論	33
319	黒野 伸子	木	2	1MP	教養ゼミナール	11
320	黒野 伸子	木	3	2MP	専門ゼミナールⅡ	19
321	青山 弘	水	4・5	2MP	情報資源組織演習	10
322	青山 弘	金	5	2MP	図書館情報資源特論	10
323	池 和子	木	1	1A	外国語コミュニケーションⅠ	42
324	池 和子	木	2	1C	外国語コミュニケーションⅠ	42
325	石川 澄江	木	1	2MP	医学用語	26
326	石川 澄江	火	5	2MP	医療コンピュータ理論	24
327	市川 恭子	火	4	2C	幼児音楽Ⅰ	43
328	市川 恭子	火	5	2A	幼児音楽Ⅰ	42
329	市川 恭子	月	3	1C	基礎音楽Ⅰ	42
330	市川 恭子	月	4	1A	基礎音楽Ⅰ	42
331	一ノ尾 志保	水	1	3G	子どもの保健演習	40
332	一ノ尾 志保	水	2	3E	子どもの保健演習	41
333	太田 二郎	月	1	2CD	社会的養護	86
334	太田 二郎	月	2	2G	相談援助	42
335	太田 富士子	水	1	1G	乳児保育Ⅰ	33
336	太田 富士子	水	2	1E	乳児保育Ⅰ	35
337	岡田 良美	火	1	2CD	子どもの保健Ⅰ	86
338	岡田 良美	木	1	2C	子どもの保健演習	42
339	岡田 良美	木	2	2D	子どもの保健演習	44
340	岡本 純	火	2	2MP	消費者心理	32
341	岡本 純	火	1	1MP	商品学	30
342	小野 隆司	月	5	1D	基礎音楽Ⅰ	43
343	小野 隆司	水	1	1E	基礎音楽Ⅰ	34
344	小野 隆司	水	2	1G	基礎音楽Ⅰ	33
345	河合 悦子	水	1	1D	乳児保育Ⅰ	43
346	河合 悦子	水	2	1B	乳児保育Ⅰ	41
347	河合 悦子	月	2	2D	保育内容演習(人間関係)	44
348	河合 悦子	月	3	2A	保育内容演習(人間関係)	42
349	河野 明日香	集中	-	2MP	生涯学習概論	10

## 授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
350	金 昭 鎧	木	2	2MP	韓国語入門	46
351	熊 崎 稔 子	月	2	2A	子どもの食と栄養 I	43
352	熊 崎 稔 子	月	3	2C	子どもの食と栄養 I	42
353	小 塚 光 夫	火	1	1AB	児童家庭福祉	83
354	小 塚 光 夫	火	2	1CD	児童家庭福祉	85
355	鈴 木 展 子	木	3	2A	子どもの保健演習	42
356	鈴 木 展 子	木	4	2B	子どもの保健演習	41
357	田 中 秀 吉	火	1	3G	子どもの食と栄養 I	40
358	田 中 秀 吉	火	2	3E	子どもの食と栄養 I	41
359	戸 谷 百 合 子	木	1	2AB	子どもの保健 I	83
360	飛 石 眞 理 子	土	2	2MP	児童サービス論	10
361	飛 石 眞 理 子	土	1	1MP・2MP	情報サービス演習	10
362	鳥 当 法 子	木	2	2B	子どもの食と栄養 I	40
363	鳥 当 法 子	木	3	2D	子どもの食と栄養 I	44
364	中 田 伸 江	火	3	1D	幼児体育 I	44
365	中 田 伸 江	水	1	2G	幼児体育 I	42
366	野 田 耕 平	火	2	1P	情報基礎演習 I	23
367	野 田 耕 平	火	3	1M	情報基礎演習 I	25
368	服 部 次 郎	木	1	2D	相談援助	44
369	服 部 次 郎	木	2	2A	相談援助	42
370	原 田 裕 貴	木	1	2G	幼児音楽 I	42
371	原 田 裕 貴	木	2	2E	幼児音楽 I	44
372	原 田 裕 貴	月	3	1C	基礎音楽 I	42
373	平 岩 ふ み よ	月	3	2D	障害児保育 I	44
374	平 岩 ふ み よ	月	4	2C	障害児保育 I	42
375	廣 瀬 伸 行	月	1	1MP	メディアデザイン	18
376	細 江 逸 雄	火	1	2EG	家庭支援論	86
377	細 川 壯 平	金	2	1AB	日本国憲法	84
378	堀 初 枝	金	1	1B	基礎音楽 I	41
379	前 川 芳 久	月	5	1MP・2MP	図書館サービス概論	11
380	前 川 芳 久	金	5	2MP	図書・図書館史	13
381	松 本 亜 実	金	2	1C	情報基礎演習 I	42
382	松 本 亜 実	金	3	1D	情報基礎演習 I	43
383	松 本 亜 実	金	4	1B	情報基礎演習 I	41
384	山 内 敦 子	月	5	1D	基礎音楽 I	43
385	山 崎 千 恵 子	木	2	2C	保育内容演習(人間関係)	42
386	山 崎 千 恵 子	木	3	2B	保育内容演習(人間関係)	41
387	山 崎 千 恵 子	火	2	2EG	指導法の研究	86
388	加 藤 み ゆ き	月	2	2MP	英語検定講座	18
389	岡 崎 一 浩	金	2	2MP	コンピュータ会計	24
390	岡 崎 一 浩	金	1	1MP・2MP	上級簿記 I	21
391	原 和 久	土	1	1E	情報基礎演習 I	35
392	原 和 久	土	2	1G	情報基礎演習 I	33

授業アンケート実施一覧(短大前期)

番号	氏名	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
393	浦部 幹資	金	4	1MP・2MP	図書館概論	11
394	大山 絵美	水	1	1E	基礎音楽 I	34
395	大山 絵美	水	2	1G	基礎音楽 I	33
396	小野 孝美	火	3	1B	保育内容演習(言葉)	42
397	小野 孝美	火	4	1D	保育内容演習(言葉)	43
398	小野 孝美	火	2	1G	保育内容演習(言葉)	33
399	船井 純平	木	1	1B	外国語コミュニケーション I	41
400	船井 純平	木	2	1D	外国語コミュニケーション I	43
401	船井 純平	水	1	3E	外国語コミュニケーション I	41
402	船井 純平	水	2	3G	外国語コミュニケーション I	39
403	吉田 龍宏	月	3	1AB	保育原理	83
404	吉田 龍宏	月	4	1CD	保育原理	85
405	酒井 一由	金	1	2MP	解剖生理学	24
406	酒井 一由	金	2	2MP	臨床検査学	24



## 2017年度前期 学生による授業アンケート集計結果

### 全体集計 (大学)

※無回答・重複回答は集計対象外

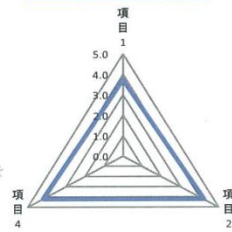
- 受講者数 4,204名
- 回答者数 3,335名
- 回答率 79.3%

大項目	項目	大学平均	割合							件数					合計	0% 25% 50% 75% 100%
			肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	③ どちらともいえない	② あまり思わない	① そう思わない	⑤ そう思う	④ 少し思う	③ どちらともいえない	② あまり思わない	① そう思わない			
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.74	59.6%	24.5%	35.1%	32.5%	5.5%	2.4%	816	1,168	1,082	182	81	3,329		
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.24	80.2%	46.2%	34.0%	17.7%	1.7%	0.4%	1,537	1,133	588	58	12	3,328		
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	2.5%	3.9%	13.0%	31.5%	49.2%	83	129	431	1,048	1,636	3,327		
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.21	78.3%	46.4%	31.8%	18.2%	3.1%	0.5%	1,548	1,061	606	103	16	3,334		
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	4.09	74.5%	39.5%	35.0%	22.0%	2.5%	1.0%	1,317	1,165	733	84	34	3,333		
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか?	4.18	76.8%	43.8%	33.0%	20.8%	1.8%	0.5%	1,460	1,100	698	61	16	3,335		
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	4.08	71.6%	41.9%	29.7%	23.7%	3.6%	1.1%	1,397	989	789	121	36	3,332		
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。 ※	4.17	-	6.2%	23.0%	67.5%	2.9%	0.5%	205	766	2,248	96	15	3,330		
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.43	87.3%	57.8%	29.5%	10.9%	1.3%	0.5%	1,921	979	363	43	15	3,321		
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.21	78.8%	50.9%	27.9%	14.3%	4.7%	2.2%	1,690	928	475	155	73	3,321		
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.21	78.1%	51.1%	27.0%	15.5%	4.8%	1.6%	1,697	895	513	161	54	3,320		
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.18	76.4%	47.0%	29.5%	19.3%	3.0%	1.2%	1,559	978	641	101	41	3,320		
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.19	75.7%	48.6%	27.1%	19.9%	3.3%	1.1%	1,615	900	661	111	35	3,322		
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.29	80.2%	53.2%	26.9%	16.5%	2.3%	1.0%	1,768	895	549	76	33	3,321		
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.23	76.9%	49.3%	27.6%	20.9%	1.5%	0.7%	1,638	915	694	50	24	3,321		
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.38	82.7%	58.2%	24.5%	15.3%	1.4%	0.7%	1,930	814	507	45	23	3,319		
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	4.06	74.2%	35.2%	39.0%	22.8%	2.6%	0.4%	1,165	1,292	758	86	12	3,313		
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.12	75.8%	42.0%	33.8%	19.3%	3.8%	1.1%	1,392	1,121	639	127	37	3,316		
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.22	79.4%	47.5%	31.9%	16.9%	2.7%	1.1%	1,575	1,057	559	88	35	3,314		

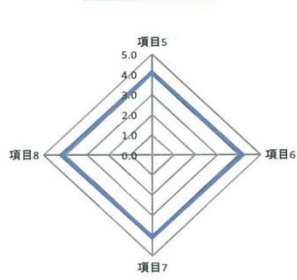
※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい  
平均:「⑤そう思う」③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

#### ■設問項目別平均グラフ

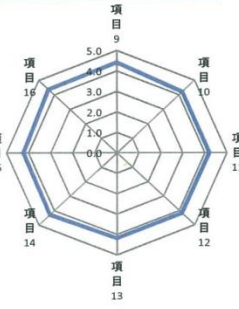
##### 1.あなた自身について



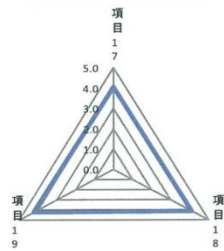
##### 2.授業について



##### 3.授業方法、教員について



##### 4.教育効果について



## 2017年度前期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計 (短大)

- 受講者数 10,652名
- 回答者数 8,679名
- 回答率 81.5%

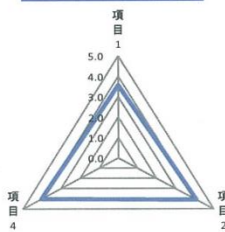
※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	短大平均	割合										合計	件数						
			肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	③ いえない	② どちらとも	① あまり思わない	① そう思わない	② 少し思う	③ いえない	④ どちらとも		⑤ あまり思わない	① そう思わない	② 少し思わない	③ あまり思わない	④ そう思わない	⑤ そう思わない	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.57	50.7%	19.5%	31.2%	39.5%	6.4%	3.4%	1,691	2,704	3,425	553	298	8,671						
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.10	72.3%	40.8%	31.6%	25.2%	2.2%	0.3%	3,529	2,732	2,182	187	26	8,656						
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	3.6%	4.3%	13.4%	26.4%	52.3%	309	368	1,160	2,286	4,520	8,643						
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.02	67.6%	38.6%	29.0%	28.3%	3.4%	0.6%	3,341	2,514	2,452	296	54	8,657						
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標・内容、評価方法を弄し、分かりやすいものでしたか。	3.88	63.4%	30.9%	32.4%	32.0%	3.3%	1.3%	2,681	2,812	2,773	288	112	8,666						
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか?	3.98	67.2%	34.5%	32.7%	29.4%	2.4%	0.9%	2,993	2,831	2,551	212	76	8,663						
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.87	62.3%	33.6%	28.7%	30.6%	5.4%	1.8%	2,909	2,482	2,646	468	154	8,659						
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。 ※	4.12	-	7.3%	23.7%	65.3%	2.5%	1.1%	633	2,052	5,655	219	97	8,656						
	3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.19	77.5%	45.9%	31.6%	19.3%	2.3%	0.9%	3,978	2,737	1,672	197	80	8,664					
		10 教員の説明は分かりやすかったですか。	3.89	69.8%	40.5%	29.3%	21.9%	5.5%	2.7%	3,510	2,540	1,900	475	237	8,662					
		11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.05	71.1%	43.0%	28.1%	22.0%	4.9%	2.0%	3,725	2,436	1,909	421	176	8,667					
		12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.00	68.7%	40.4%	28.3%	24.5%	4.8%	2.0%	3,498	2,454	2,118	417	174	8,661					
13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。		3.97	66.6%	38.2%	28.4%	27.7%	4.1%	1.6%	3,306	2,461	2,403	352	141	8,663						
14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。		4.07	71.2%	42.1%	29.1%	24.3%	3.0%	1.6%	3,643	2,524	2,102	257	135	8,661						
4 教育効果について	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.02	68.0%	39.3%	28.7%	27.9%	2.8%	1.3%	3,405	2,488	2,421	240	114	8,668						
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.15	73.6%	45.6%	28.0%	23.0%	2.1%	1.3%	3,946	2,428	1,989	182	112	8,657						
	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.87	63.2%	28.4%	34.8%	33.2%	2.7%	0.9%	2,456	3,014	2,872	232	79	8,653						
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	3.90	64.3%	32.9%	31.4%	30.0%	3.8%	1.9%	2,847	2,719	2,594	331	161	8,652						
19 授業は全体として満足できるものでしたか。	3.99	68.2%	37.5%	30.7%	26.9%	3.2%	1.7%	3,241	2,657	2,330	277	144	8,649							

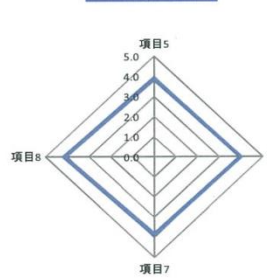
※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい  
平均:「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑥非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「①あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■設問項目別平均グラフ

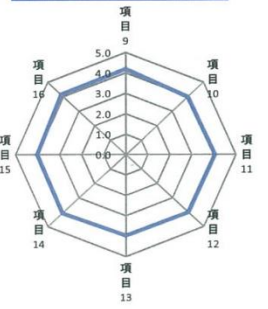
1.あなた自身について



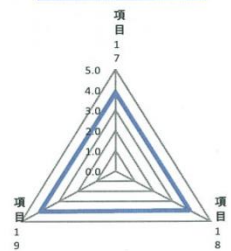
2.授業について



3.授業方法、教員について



4.教育効果について





平成29年11月27日

授業担当教員 各位

大学・短大FD委員会

### 授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただきました平成29年度前期授業アンケートの結果をご報告させていただきます。

なお、「授業アンケートによる自己点検報告書」を、**12月28日(木)までに教務課へ**ご提出くださいますようお願い申し上げます。

別途、自己点検報告書のフォーマットを送信致しますので、メールでの提出も可能です。



## 【授業アンケートによる自己点検報告書】(平成29年度前期)

所属学科		教員氏名	
授業科目名		授業形態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
【授業アンケートによる自己点検内容】			
<p>前回のアンケート結果を受けて、今年度新たに①“改善を試みた点”、今回の授業アンケート結果から、②“優れていた点”および③“改善すべき点”を中心に記入してください。</p>			
①			
②			
③			
<p>総合評価として、当てはまるものに○を付けてください。          あなたは、この授業のシラバスに記載した到達目標を学生に達成させることができましたか。</p> <p>5 できた    4 ある程度できた    3 どちらともいえない    2 あまりできなかった    1 できなかった</p>			

平成29年12月25日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 林 陽子

## 「学生による授業アンケート」(後期)の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

#### 2 実施期間

後期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

#### 3 実施する授業

全ての授業科目(全コマ)で実施してください。

(但し、受講者10名未満の授業科目は、自由記述のみのアンケート用紙を使用します。また、ゼミナールは、使用するアンケート用紙を教員にて選択し、実施してください。)  
(別紙案内文をご覧ください。)

#### 4 実施方法

- 必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- 授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- 回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。(各先生は回収作業には関与しないでください。)
- 回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。(教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。)

#### 5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。なお、ご提出頂いた報告書は、学修支援センターにて公表されますので、ご承知おきください。

問い合わせ先： 教務課

## 学生による授業アンケート

実施日 年 月 日

このアンケートは学生の視点を活用して、本学の授業の改善を図るためのものです。

- 調査は無記名で行い、個々の回答内容について公開されることはありません。
- 回答内容が成績に影響することはありません。
- 学生それぞれが、大学を構成する重要な一員として、本学の教育をより良いものにするという意識のもとに、率直に回答してください。
- 回答内容（数値データ）に関しては、ファイルにまとめ、授業担当者だけでなく、学生や教職員が学修支援センターで閲覧できるようにするとともに、教育環境の改善をする上での大切な資料とします。

### ■ 授業科目、教員氏名、あなたの学年クラスを記入してください。

授業科目	
教員氏名	
あなたの学年クラス	年                      クラス

### ■ 1 から 19 の設問について、5 段階評価でもっとも適切な番号に○をつけてください。

#### 【設 問 項 目】

選択基準：            5 そう思う    4 少し思う  
 3 どちらともいえない    2 あまり思わない  
 1 そう思わない

#### 1] あなた自身について

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。<br>⑤ 4時間以上    ④ 3時間    ③ 2時間    ② 1時間<br>① 30分以下 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 4 あなたは、授業中のマナー(私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等)を守ることができましたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

#### 2] 授業について

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 授業内容（シラバス）や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。                 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？                     | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 課題の内容や量は適切でしたか。   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 授業内容の難易度は適切でしたか。<br>⑤非常に難しい    ④難しい    ③適切    ②やさしい<br>①非常にやさしい | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

3 授業方法、教員について

9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	5	4	3	2	1
10 教員の説明は分かりやすかったですか。	5	4	3	2	1
11 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	5	4	3	2	1
12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。	5	4	3	2	1
13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	5	4	3	2	1
14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	5	4	3	2	1
16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	5	4	3	2	1

4 教育効果について

17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	5	4	3	2	1
18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	5	4	3	2	1
19 授業は全体として満足できるものでしたか。	5	4	3	2	1

■ 自由記述

○ この授業で評価すべき点、改善すべき点、気づいた点などについて書いてください。

○ 教室の設備や校舎の環境などについて改善を要望するようなことがありましたら書いてください。

## 授業アンケート実施一覧(大学後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
001	長柄孝彦	大学	月	2	3S	幼児音楽Ⅱ	29
002	長柄孝彦	大学	月	1	3T	幼児音楽Ⅱ	26
003	小宮富子	大学	金	3	1S	英語Ⅱ	23
004	小宮富子	大学	火	1	2ST・3ST・4ST	英語総合(発展)	30
005	矢藤誠慈郎	大学	木	4	1ST	保育者論	87
006	矢藤誠慈郎	大学	水	2	2ST	教育方法論	68
007	矢藤誠慈郎	大学	火	2	3ST	教育経営論	56
008	矢藤誠慈郎	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
009	矢藤誠慈郎	大学	月	—	4ST	長期フィールド実習	5
010	赤羽根有里子	大学	金	4	1T	児童文化	44
011	赤羽根有里子	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	6
012	赤羽根有里子	大学	火	3	4ST	専門ゼミナールⅣ	6
013	赤羽根有里子	大学	木	3・4	4ST	保育・教職実践演習(幼)	82
014	赤羽根有里子	大学	—	—	4ST	卒業研究	6
015	上田信道	大学	木	3	1S	児童文化	45
016	上田信道	大学	火	4	3ST	ストーリー創作の研究	14
017	上田信道	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	3
018	上田信道	大学	火	3	4ST	専門ゼミナールⅣ	4
019	上田信道	大学	—	—	4ST	卒業研究	4
020	小野隆	大学	月	2	1S	体育Ⅱ	39
021	小野隆	大学	月	3	1T	体育Ⅱ	40
022	小野隆	大学	木	5	2ST	体育実技Ⅱ	22
023	小野隆	大学	月	1	2ST	保健体育講義	68
024	小野隆	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	3
025	小野隆	大学	火	3	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
026	小野隆	大学	—	—	4ST	卒業研究	5
027	中田基昭	大学	集中	—	1ST	女性の生き方	88
028	中田基昭	大学	火	4	1ST	教育学概論	87
029	中田基昭	大学	火	5	2ST	教育人間学	70
030	中田基昭	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	3
031	中田基昭	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	7
032	中田基昭	大学	—	—	4ST	卒業研究	7
033	白石さや	大学	木	2	2ST・3ST	現代文化人類学	5
034	白石さや	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	6
035	白石さや	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	4
036	白石さや	大学	—	—	4ST	卒業研究	4
037	佐善圭	大学	月	4	1S	造形Ⅱ	39
038	佐善圭	大学	月	2	1T	造形Ⅱ	40
039	佐善圭	大学	木	4	2T	造形Ⅳ	34
040	佐善圭	大学	木	3	2S	造形Ⅳ	30
041	佐善圭	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	6
042	佐善圭	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	7
043	佐善圭	大学	—	—	4ST	卒業研究	7

## 授業アンケート実施一覧(大学後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
044	大岩 みちの	大学	水	1	2ST	保育の計画と評価	68
045	大岩 みちの	大学	木	1	3ST	保育方法論	56
046	大岩 みちの	大学	木	3	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
047	大岩 みちの	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	7
048	大岩 みちの	大学	月	—	4ST	長期フィールド実習	7
049	権 洵珠	大学	金	3	2ST	高齢社会と福祉	68
050	権 洵珠	大学	金	4	2S	相談援助Ⅱ	7
051	権 洵珠	大学	金	1	2T	相談援助Ⅱ	16
052	権 洵珠	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	3
053	権 洵珠	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	3
054	権 洵珠	大学	火	1	1S	地域貢献とボランティア	45
055	権 洵珠	大学	火	3	1T	地域貢献とボランティア	42
056	権 洵珠	大学	—	—	4ST	卒業研究	3
057	白垣 潤	大学	金	3	3S	障がい児保育Ⅱ	29
058	白垣 潤	大学	金	4	3T	障がい児保育Ⅱ	26
059	白垣 潤	大学	火	3	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
060	白垣 潤	大学	—	—	4ST	卒業研究	5
061	小原 倫子	大学	金	2	1S	教育と発達の心理学Ⅱ	45
062	小原 倫子	大学	金	3	1T	教育と発達の心理学Ⅱ	43
063	小原 倫子	大学	月	1	3S	教育・保育相談	29
064	小原 倫子	大学	月	4	3T	教育・保育相談	26
065	小原 倫子	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
066	小原 倫子	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
067	小原 倫子	大学	—	—	4ST	卒業研究	5
068	吉村 譲	大学	金	5	2S	社会的養護内容	34
069	吉村 譲	大学	金	4	2T	社会的養護内容	35
070	吉村 譲	大学	金	2	3ST	保育実習指導Ⅲ	15
071	吉村 譲	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	2
072	吉村 譲	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
073	吉村 譲	大学	月	—	4ST	長期フィールド実習	5
074	岸本 美紀	大学	火	5	1T	乳児保育Ⅱ	41
075	岸本 美紀	大学	金	5	3S	教育実習指導Ⅱ	29
076	岸本 美紀	大学	金	2	3T	保育実習指導Ⅱ	15
077	岸本 美紀	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	2
078	岸本 美紀	大学	火	3	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
079	岸本 美紀	大学	月	—	4ST	長期フィールド実習	5
080	鈴木 方子	大学	金	4	1S	乳児保育Ⅱ	44
081	鈴木 方子	大学	金	5	3T	教育実習指導Ⅱ	26
082	鈴木 方子	大学	金	2	3S	保育実習指導Ⅱ	23
083	鈴木 方子	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	5
084	鈴木 方子	大学	月	—	4ST	長期フィールド実習	5
085	鈴木 方子	大学	木	3・4	4ST	保育・教職実践演習(幼)	82
086	北浦 恒人	大学	火	2	1S	音楽Ⅱ	46

授業アンケート実施一覧(大学後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
087	北浦恒人	大学	火	1	1T	音楽Ⅱ	46
088	北浦恒人	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
089	北浦恒人	大学	火	3	4ST	専門ゼミナールⅣ	7
090	北浦恒人	大学	—	—	4ST	卒業研究	7
091	仲田勝美	大学	金	1	1ST	社会福祉論	86
092	仲田勝美	大学	金	3	2ST	高齢社会と福祉	68
093	仲田勝美	大学	月	3	2S	介護技術演習	40
094	仲田勝美	大学	月	4	2T	介護技術演習	37
095	仲田勝美	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	2
096	花田経子	大学	火	3	1S	情報処理Ⅱ	45
097	花田経子	大学	火	2	1T	情報処理Ⅱ	42
098	花田経子	大学	木	4	3ST	情報メディアと表現	5
099	花田経子	大学	水	1	3ST	専門ゼミナールⅡ	1
100	花田経子	大学	水	2	4ST	専門ゼミナールⅣ	7
101	花田経子	大学	—	—	4ST	卒業研究	7
102	蜂須賀 涉	大学	火	1	1S	地域貢献とボランティア	45
103	蜂須賀 涉	大学	火	3	1T	地域貢献とボランティア	42
104	宇都宮 森和	大学	火	1	1S	地域貢献とボランティア	45
105	宇都宮 森和	大学	火	3	1T	地域貢献とボランティア	42
106	西川 由美子	大学	月	3	2T	保育内容演習「環境」Ⅱ	35
107	山田 悠莉	大学	火	3	3S	舞台表現の技術	13
108	日野水 憲	大学	金	2	1T	英語Ⅱ	21
109	日野水 憲	大学	火	1	2ST・3ST・4ST	英語総合(発展)	30
110	市川 恭子	大学	火	2	1S	音楽Ⅱ	46
111	市川 恭子	大学	火	1	1T	音楽Ⅱ	46
112	遠藤 幸子	大学	木	1	2ST	子どもの保健Ⅱ	68
113	小笠原 昇一	大学	木	2	2ST・3ST	生命の科学	6
114	岡田 良美	大学	火	2	2S	子どもの保健演習	34
115	岡田 良美	大学	火	3	2T	子どもの保健演習	34
116	岡本 伸子	大学	月	3	1S	コミュニケーション演習	13
117	岡本 伸子	大学	月	4	1T	コミュニケーション演習	19
118	岡本 伸子	大学	月	2	3T	舞台表現の技術	14
119	加藤 早苗	大学	火	3	2S	保育内容演習「人間関係」Ⅱ	34
120	加藤 早苗	大学	火	2	2T	保育内容演習「人間関係」Ⅱ	34
121	金子 佳代	大学	月	3	3ST	家庭支援演習	8
122	金 昭 鎧	大学	木	2	3ST・4ST	韓国語(初級)	22
123	久保原 信司	大学	火	5	3ST・4ST	ポルトガル語(初級)	4
124	齊藤 安潔	大学	月	1	1ST	哲学	56
125	佐藤 由美	大学	木	4	2S	基礎音楽Ⅳ	11
126	佐藤 由美	大学	木	3	2T	基礎音楽Ⅳ	12
127	佐部利 弦	大学	火	2	1S	音楽Ⅱ	46
128	佐部利 弦	大学	火	1	1T	音楽Ⅱ	46
129	武田 康代	大学	金	1	2S	子どもの食と栄養Ⅱ	34

## 授業アンケート実施一覧(大学後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
130	武田 康代	大学	金	2	2T	子どもの食と栄養Ⅱ	35
131	西濱 由有	大学	木	4	2S	基礎音楽Ⅳ	11
132	西濱 由有	大学	木	3	2T	基礎音楽Ⅳ	12
133	服部 次郎	大学	木	1	1ST	児童家庭福祉	87
134	服部 次郎	大学	木	2	1ST	現代社会と福祉	56
135	原田 裕貴	大学	木	4	2S	基礎音楽Ⅳ	11
136	原田 裕貴	大学	木	3	2T	基礎音楽Ⅳ	12
137	堀 初枝	大学	火	2	1S	音楽Ⅱ	46
138	堀 初枝	大学	火	1	1T	音楽Ⅱ	46
139	堀 初枝	大学	月	2	3S	幼児音楽Ⅱ	29
140	堀 初枝	大学	月	1	3T	幼児音楽Ⅱ	26
141	本山 益子	大学	金	4	3S	保育内容演習「表現」Ⅱ	24
142	本山 益子	大学	金	3	3T	保育内容演習「表現」Ⅱ	23
143	安林 奈緒美	大学	月	2	2ST	社会学	4
144	榊原 久子	大学	集中	—	1ST	女性の生き方	88
145	山内 敦子	大学	木	4	2S	基礎音楽Ⅳ	11
146	山内 敦子	大学	木	3	2T	基礎音楽Ⅳ	12
147	Robert James Lowe	大学	金	1	3ST・4ST	オーラル・イングリッシュ(中級)	4
148	牧原 東吾	大学	水	1	1S	保育内容演習「環境」	45
149	牧原 東吾	大学	水	2	1T	保育内容演習「環境」	43
150	牧原 東吾	大学	金	2	2S	保育内容演習「環境」Ⅱ	35
151	和田 直子	大学	木	5	1S	保育内容演習「人間関係」	45
152	和田 直子	大学	木	3	1T	保育内容演習「人間関係」	42
153	周 素芬	大学	火	1	2ST・3ST・4ST	中国語(初級)	18
154	加藤 みゆき	大学	金	3	1S	英語Ⅱ	22
155	加藤 みゆき	大学	金	2	1T	英語Ⅱ	21



## 授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
156	林 陽子	幼教一部	水	2	1A	乳児保育Ⅱ	42
157	林 陽子	幼教一部	木	4	1C	乳児保育Ⅱ	42
158	小宮 富子	現ビ	火	2	1MP	観光英語	45
159	矢藤 誠慈郎	幼教一部	木	1	1CD	保育課程論	86
160	矢藤 誠慈郎	幼教一部	木	2	1AB	保育課程論	82
161	上田 信道	幼教一部	金	1	1B	日本語表現	40
162	小野 隆	幼教一部	—	—	2ABCD	レクリエーション実習	36
163	権 洵珠	幼教一部	木	3	1A	保育実習指導Ⅰ	42
164	白垣 潤	幼教三部	木	1	2G	障害児保育Ⅱ	42
165	小原 倫子	幼教三部	金	1	1EG	幼児理解の理論と方法	67
166	吉村 謙	幼教一部	木	4	1B	保育実習指導Ⅰ	40
167	北浦 恒人	幼教一部	金	3	2D	幼児音楽Ⅱ	44
168	仲田 勝美	幼教一部	木	4	1D	保育実習指導Ⅰ	43
169	仲田 勝美	幼教三部	水	2	1EG	児童家庭福祉	67
170	花田 経子	幼教一部	月	1	1A	情報基礎演習Ⅱ	42
171	花田 経子	幼教一部	月	2	1C	情報基礎演習Ⅱ	42
172	山田 光治	幼教三部	水	2	2E	保育実習指導Ⅰ	44
173	山田 光治	幼教一部	木	1	2B	保育カウンセリング	40
174	山田 光治	幼教一部	金	3	2C	保育相談支援	41
175	山田 光治	幼教一部	金	4	2B	保育相談支援	41
176	妹尾 美智子	幼教一部	月	4	1A	基礎音楽Ⅱ	42
177	妹尾 美智子	幼教一部	月	5	1C	基礎音楽Ⅱ	42
178	妹尾 美智子	幼教一部	金	1	1D	基礎音楽Ⅱ	43
179	妹尾 美智子	幼教一部	金	2	1B	基礎音楽Ⅱ	40
180	妹尾 美智子	幼教一部	火	3	1A	保育表現演習	42
181	妹尾 美智子	幼教一部	月	3	2B	幼児音楽Ⅱ	42
182	妹尾 美智子	幼教一部	金	3	2D	幼児音楽Ⅱ	44
183	鳥居 恵治	幼教三部	土	1	1G	保育研究Ⅰ	33
184	鳥居 恵治	幼教三部	土	2	1E	保育研究Ⅰ	35
186	鳥居 恵治	幼教三部	月	1	2E	幼児体育Ⅱ	44
187	大倉 健太郎	幼教一部	月	3	1AB	教育原理	82
188	大倉 健太郎	幼教一部	月	4	1CD	教育原理	85
189	大倉 健太郎	幼教一部	木	2	2AB	教育制度・政策論	83
190	大倉 健太郎	幼教一部	木	4	2CD	教育制度・政策論	84
191	大倉 健太郎	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	12
192	大倉 健太郎	幼教三部	水	1	1EG	保育者論	67
193	大倉 健太郎	幼教三部	月	2	3EG	教育方法論	81
194	真木 弘	幼教一部	月	2	2CD	健康とスポーツ(講義)	84
195	真木 弘	幼教一部	金	3	2AB	健康とスポーツ(講義)	83
196	真木 弘	幼教三部	月	1	3EG	健康とスポーツ(講義)	80
197	真木 弘	現ビ	金	1	1MP	スポーツ実技Ⅰ	44
198	築山 高彦	幼教一部	月	1	2C	社会的養護内容	41
199	築山 高彦	幼教一部	金	3	1C	保育実習指導Ⅰ	42

## 授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
200	築山高彦	幼教三部	月	2	2G	保育実習指導Ⅰ	42
201	西川由美子	幼教三部	月	2	1E	教育実習(事前・事後指導を含む。)	34
202	西川由美子	幼教三部	土	1	2E	保育実習指導Ⅰ	44
203	後藤直美	幼教一部	木	1	2A	保育内容演習(環境)	42
204	後藤直美	幼教一部	木	3	2C	保育内容演習(環境)	41
205	後藤直美	幼教三部	土	1	2G	保育実習指導Ⅰ	42
206	梅下弘樹	幼教一部	木	3	2A	障害児保育Ⅱ	43
207	梅下弘樹	幼教一部	木	4	2B	障害児保育Ⅱ	41
208	梅下弘樹	幼教一部	火	3	2D	保育カウンセリング	43
209	梅下弘樹	幼教一部	火	4	2C	保育カウンセリング	42
210	梅下弘樹	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	4
211	梅下弘樹	幼教三部	木	1	2E	障害児保育Ⅱ	43
212	鈴木穂波	幼教一部	金	3	1AB	児童文学	10
213	鈴木穂波	幼教一部	金	4	1CD	児童文学	12
214	鈴木穂波	幼教一部	火	2	2A	児童文化演習Ⅱ	42
215	鈴木穂波	幼教一部	火	3	2B	児童文化演習Ⅱ	41
216	鈴木穂波	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	15
217	鈴木穂波	幼教三部	水	1	2G	保育表現演習	42
218	山下晋	幼教一部	金	2	1A	幼児体育Ⅱ	42
219	山下晋	幼教一部	金	3	1D	幼児体育Ⅱ	43
220	山下晋	幼教一部	金	1	1C	保育表現演習	42
221	山下晋	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	16
222	山下晋	幼教三部	火	1	2G	幼児体育Ⅱ	42
223	平尾憲嗣	幼教一部	月	4	1A	基礎音楽Ⅱ	42
224	平尾憲嗣	幼教一部	月	5	1C	基礎音楽Ⅱ	42
225	平尾憲嗣	幼教一部	月	3	2B	幼児音楽Ⅱ	42
226	平尾憲嗣	幼教一部	火	4	2A	幼児音楽Ⅱ	42
227	平尾憲嗣	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	15
228	平尾憲嗣	幼教三部	金	1・2	3EG	教職実践演習(幼稚園)	81
229	笹瀬佐代子	幼教三部	木	2	2E	保育表現演習	44
230	笹瀬佐代子	現ビ	木	3	2MP	ライフとワーク	8
231	野田美樹	幼教一部	月	1	1B	保育実習指導Ⅰ	40
232	野田美樹	幼教一部	火	4	1A	保育実習指導Ⅰ	42
233	野田美樹	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	16
234	野田美樹	幼教三部	金	1・2	3EG	教職実践演習(幼稚園)	81
235	滝沢ほだか	幼教一部	火	3	2C	幼児音楽Ⅱ	41
236	滝沢ほだか	幼教一部	火	4	2A	幼児音楽Ⅱ	42
237	滝沢ほだか	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	14
238	滝沢ほだか	幼教一部	金	1・2	2ABCD	保育・教職実践演習(幼)	167
239	滝沢ほだか	幼教三部	木	1	1G	基礎音楽Ⅱ	33
240	滝沢ほだか	幼教三部	木	2	1E	基礎音楽Ⅱ	33
241	山田悠莉	幼教一部	火	2	1D	パフォーミングボディ	43
242	山田悠莉	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	16

授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
243	山田 悠 莉	幼教一部	金	1・2	2ABCD	保育・教職実践演習(幼)	167
244	山田 悠 莉	幼教三部	月	1	2G	パフォーマンスボディ	39
245	山田 悠 莉	幼教三部	火	1	2E	パフォーマンスボディ	37
246	丸山 笑里佳	幼教一部	火	1	1AB	発達と教育の心理学	82
247	丸山 笑里佳	幼教一部	火	3	1CD	発達と教育の心理学	86
248	丸山 笑里佳	幼教一部	火	4	1B	保育表現演習	40
249	丸山 笑里佳	幼教一部	木	4	2A	保育カウンセリング	42
250	丸山 笑里佳	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	13
251	丸山 笑里佳	幼教三部	金	2	1EG	発達と教育の心理学	67
252	米窪 洋 介	幼教一部	月	3	1C	幼児造形Ⅰ	42
253	米窪 洋 介	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	15
254	米窪 洋 介	幼教三部	月	1	1E	幼児造形Ⅰ	35
255	米窪 洋 介	幼教三部	月	2	1G	幼児造形Ⅰ	33
256	米窪 洋 介	幼教三部	金	1・2	3EG	教職実践演習(幼稚園)	81
257	横田 典 子	幼教一部	火	4	1D	幼児造形Ⅰ	43
258	横田 典 子	幼教一部	木	3	1B	幼児造形Ⅰ	40
259	横田 典 子	幼教一部	木	4	1A	幼児造形Ⅰ	42
260	横田 典 子	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	16
261	横田 典 子	幼教一部	金	1・2	2ABCD	保育・教職実践演習(幼)	167
262	渡部 努	幼教一部	金	1・2	2A	教育実習(事前・事後指導を含む。)	42
263	渡部 努	幼教一部	金	1・2	2B	教育実習(事前・事後指導を含む。)	41
264	渡部 努	幼教一部	水	2	2ABCD	子どもの研究Ⅱ	16
265	渡部 努	幼教一部	金	1・2	2ABCD	保育・教職実践演習(幼)	167
266	渡部 努	幼教三部	火	2	1EG	保育課程論	67
267	渡部 努	幼教三部	月	1	1G	教育実習(事前・事後指導を含む。)	33
268	鈴木 文 代	幼教一部	水	1	1AB	幼児理解の理論と方法	82
269	鈴木 文 代	幼教一部	水	2	1CD	幼児理解の理論と方法	85
270	鈴木 文 代	幼教一部	金	1・2	2C	教育実習(事前・事後指導を含む。)	41
271	鈴木 文 代	幼教一部	金	1・2	2D	教育実習(事前・事後指導を含む。)	44
272	櫻井 貴 大	幼教一部	月	1	1D	保育実習指導Ⅰ	43
273	櫻井 貴 大	幼教一部	火	4	1C	保育実習指導Ⅰ	42
274	櫻井 貴 大	幼教一部	月	2	1D	保育表現演習	43
275	櫻井 貴 大	幼教一部	火	1	2D	保育内容演習(環境)	44
276	櫻井 貴 大	幼教一部	火	2	2B	保育内容演習(環境)	41
277	櫻井 貴 大	幼教一部	木	2	2C	児童文化演習Ⅱ	41
278	櫻井 貴 大	幼教一部	木	3	2D	児童文化演習Ⅱ	44
279	市原 潔	現ビ	火	3	1MP	経営実務演習Ⅰ	45
280	市原 潔	現ビ	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	45
281	市原 潔	現ビ	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	7
282	市原 潔	現ビ	月	3	2MP	情報処理Ⅱ	16
283	市原 潔	現ビ	月	1	2MP	プログラミング	8
284	市原 潔	現ビ	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	2
285	市原 潔	現ビ	木	4	2MP	モバイルビジネス論	6

## 授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
286	鈴木 仁人	幼教一部	金	1	1A	日本語表現	42
287	鈴木 仁人	現ビ	金	2	1MP	文章表現応用	45
288	日野水 憲	現ビ	金	3	1MP	外国語コミュニケーションⅡ	44
289	日野水 憲	現ビ	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	45
290	日野水 憲	現ビ	火	3	2MP	観光英語	41
291	祝田 学	現ビ	火	1	1MP	経営戦略	23
292	祝田 学	現ビ	月	3	1MP	マーケティング・リサーチ	27
293	祝田 学	現ビ	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	45
294	祝田 学	現ビ	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	4
295	祝田 学	現ビ	水	1	2MP	経営史	11
296	祝田 学	現ビ	月	2	2MP	経営情報	10
297	祝田 学	現ビ	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	7
298	河合 晋	現ビ	水	1	1P	簿記原理Ⅱ	16
299	河合 晋	現ビ	水	2	1M	簿記原理Ⅱ	19
300	河合 晋	現ビ	月	4	1MP・2MP	上級簿記Ⅱ	16
301	河合 晋	現ビ	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	12
302	河合 晋	現ビ	木	4	1MP	簿記検定講座Ⅱ	25
303	河合 晋	現ビ	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	45
304	河合 晋	現ビ	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	14
305	河合 晋	現ビ	火	3	2MP	病院会計	22
306	町田 由徳	現ビ	火	3	1MP	経営実務演習Ⅰ	45
307	町田 由徳	現ビ	木	1	1MP	CADオペレーションⅠ	15
308	町田 由徳	現ビ	火	1	1MP	ユニバーサルデザイン	10
309	町田 由徳	現ビ	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	6
310	町田 由徳	現ビ	火	4	2MP	住空間・インテリアデザイン論	21
311	町田 由徳	現ビ	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	8
312	黒野 伸子	現ビ	月	2	1MP	診療報酬請求論Ⅱ	36
313	黒野 伸子	現ビ	木	1	1MP	診療報酬請求実務Ⅰ	26
314	黒野 伸子	現ビ	月	1	1MP	医事法制	33
315	黒野 伸子	現ビ	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	16
316	黒野 伸子	現ビ	金	1	2MP	医療管理学概論	24
317	黒野 伸子	現ビ	金	3	2MP	医療事務総論	24
318	黒野 伸子	現ビ	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	19
319	黒野 伸子	現ビ	金	2	2MP	診療報酬資格講座	24
320	青山 弘	現ビ	水	4	1MP・2MP	情報資源組織論	9
321	青山 弘	現ビ	水	5	1MP・2MP	図書館情報資源概論	9
322	池 和子	幼教一部	木	1	1A	外国語コミュニケーションⅡ	42
323	池 和子	幼教一部	木	2	1C	外国語コミュニケーションⅡ	42
324	石川 澄江	現ビ	火	5	2M	医療コンピュータ演習	14
325	石川 澄江	現ビ	木	1	2P	医療コンピュータ演習	5
326	市川 恭子	幼教一部	金	1	1D	基礎音楽Ⅱ	43
327	市川 恭子	幼教一部	金	2	1B	基礎音楽Ⅱ	40
328	一ノ尾 志保	幼教三部	金	1	2EG	子どもの保健Ⅰ	86

## 授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
329	一ノ尾 志保	幼教三部	金	2	2EG	子どもの保健Ⅱ	86
330	岩田 愛	幼教三部	木	1	3EG	女性の自立と人権	83
331	児玉 あい	幼教一部	火	3	2A	社会的養護内容	42
332	児玉 あい	幼教三部	火	1	3E	社会的養護内容	41
333	児玉 あい	幼教三部	火	2	3G	社会的養護内容	40
334	太田 二郎	幼教一部	月	2	1AB	家庭支援論	82
335	太田 二郎	幼教一部	月	3	2A	保育相談支援	42
336	太田 二郎	幼教一部	月	4	2D	保育相談支援	43
337	太田 富士子	幼教三部	木	1	1E	乳児保育Ⅱ	33
338	太田 富士子	幼教三部	木	2	1G	乳児保育Ⅱ	34
339	岡田 良美	幼教一部	木	1	2CD	子どもの保健Ⅱ	85
340	岡本 純	幼教一部	火	1	2AB	くらしと経済	83
341	岡本 純	幼教一部	火	2	2CD	くらしと経済	85
342	小野 隆司	幼教一部	月	4	1A	基礎音楽Ⅱ	42
343	小野 隆司	幼教一部	月	5	1C	基礎音楽Ⅱ	42
344	小野 隆司	幼教三部	水	1	2E	幼児音楽Ⅱ	44
345	小野 隆司	幼教三部	水	2	2G	幼児音楽Ⅱ	42
346	桂 安治	現ビ	水	2	2MP	金融論	11
347	河合 悦子	幼教一部	水	1	1D	乳児保育Ⅱ	43
348	河合 悦子	幼教一部	水	2	1B	乳児保育Ⅱ	40
349	熊崎 稔子	幼教一部	月	2	2A	子どもの食と栄養Ⅱ	42
350	熊崎 稔子	幼教一部	月	3	2C	子どもの食と栄養Ⅱ	41
351	小塚 光夫	幼教一部	月	1	2D	社会的養護内容	43
352	小塚 光夫	幼教一部	月	2	2B	社会的養護内容	41
353	竹内 典夫	幼教一部	金	2	1CD	日本国憲法	85
354	竹内 典夫	幼教三部	土	2	2EG	日本国憲法	86
355	竹内 典夫	現ビ	金	4	2MP	日本国憲法	50
356	田中 秀吉	幼教三部	火	1	3G	子どもの食と栄養Ⅱ	40
357	田中 秀吉	幼教三部	火	2	3E	子どもの食と栄養Ⅱ	41
358	戸谷 百合子	幼教一部	月	1	2AB	子どもの保健Ⅱ	83
359	飛石 真理子	現ビ	土	1	1MP・2MP	情報サービス演習	10
360	飛石 真理子	現ビ	土	2	2MP	情報サービス論	9
361	鳥当 法子	幼教一部	木	2	2D	子どもの食と栄養Ⅱ	44
362	鳥当 法子	幼教一部	木	3	2B	子どもの食と栄養Ⅱ	41
363	中田 伸江	幼教一部	火	2	1C	幼児体育Ⅱ	42
364	中田 伸江	幼教一部	火	3	1B	幼児体育Ⅱ	40
365	野田 耕平	現ビ	金	4	1M	情報基礎演習Ⅱ	23
366	野田 耕平	現ビ	金	5	1P	情報基礎演習Ⅱ	22
367	原田 裕貴	幼教三部	木	1	1G	基礎音楽Ⅱ	33
368	原田 裕貴	幼教三部	木	2	1E	基礎音楽Ⅱ	33
369	平岩 ふみよ	幼教一部	月	3	2D	障害児保育Ⅱ	43
370	平岩 ふみよ	幼教一部	月	4	2C	障害児保育Ⅱ	41
371	麓 洋介	幼教一部	金	1	1D	基礎音楽Ⅱ	43

## 授業アンケート実施一覧(短大後期)

番号	氏名	学科	曜日	時限	クラス	科目名	履修者数
372	麓 洋介	幼教一部	金	2	1B	基礎音楽Ⅱ	40
373	細江 逸雄	幼教一部	木	3	1CD	家庭支援論	85
374	細江 逸雄	幼教三部	木	2	3EG	家庭支援論	81
375	細江 逸雄	幼教三部	水	1	3G	保育相談支援	40
376	細江 逸雄	幼教三部	水	2	3E	保育相談支援	41
377	松本 亜実	幼教一部	月	3	1D	情報基礎演習Ⅱ	44
378	松本 亜実	幼教一部	月	4	1B	情報基礎演習Ⅱ	40
379	山内 敦子	幼教三部	水	1	2E	幼児音楽Ⅱ	44
380	山内 敦子	幼教三部	水	2	2G	幼児音楽Ⅱ	42
381	山崎 千恵子	幼教三部	月	2	2E	保育内容演習(人間関係)	44
382	山崎 千恵子	幼教三部	木	2	2G	保育内容演習(人間関係)	42
383	山田 千穂子	現ビ	水	1	1M	秘書実務	19
384	山田 千穂子	現ビ	水	2	1P	秘書実務	21
385	村上 昇平	現ビ	月	5	2MP	図書館情報技術論	9
386	原 和久	幼教三部	土	1	1E	情報基礎演習Ⅱ	34
387	原 和久	幼教三部	土	2	1G	情報基礎演習Ⅱ	33
388	大山 絵美	幼教三部	木	1	1G	基礎音楽Ⅱ	33
389	大山 絵美	幼教三部	木	2	1E	基礎音楽Ⅱ	33
390	大山 絵美	幼教一部	火	3	2C	幼児音楽Ⅱ	41
391	船井 純平	幼教一部	木	1	1B	外国語コミュニケーションⅡ	40
392	船井 純平	幼教一部	木	2	1D	外国語コミュニケーションⅡ	43
393	船井 純平	幼教三部	水	1	3E	外国語コミュニケーションⅡ	41
394	船井 純平	幼教三部	水	2	3G	外国語コミュニケーションⅡ	40
395	吉田 龍宏	幼教一部	火	1	1CD	指導法の研究	85
396	吉田 龍宏	幼教一部	火	2	1AB	指導法の研究	82



## 2017年度後期 学生による授業アンケート集計結果

### 全体集計 (大学)

■ 受講者数 4,050名  
■ 回答者数 3,114名  
■ 回答率 76.9%

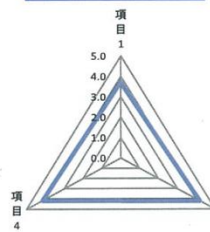
※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	大学平均	割合					件数					合計	0% 25% 50% 75% 100%		
			肯定回答率	⑤ ④ ③ ② ① ⑤ ④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	③ ② ①	② ①	⑤ ④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	③ ② ①	② ①	① ⑤ ④ ③ ② ①				
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.72	59.1%	23.8%	35.3%	33.6%	3.8%	3.5%	740	1,099	1,046	118	108	3,111		
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.20	78.3%	44.0%	34.2%	19.7%	1.7%	0.4%	1,366	1,063	611	52	12	3,104		
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	3.8%	5.2%	17.0%	26.5%	47.5%	117	163	528	825	1,477	3,110		
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.15	75.0%	43.3%	31.6%	22.4%	2.2%	0.5%	1,348	983	697	67	15	3,110		
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	4.10	74.4%	39.4%	35.0%	22.5%	2.6%	0.5%	1,227	1,088	699	81	17	3,112		
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？	4.15	76.7%	42.1%	34.7%	20.3%	2.3%	0.7%	1,309	1,078	630	71	23	3,111		
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	4.02	69.5%	39.3%	30.2%	25.1%	3.8%	1.6%	1,224	938	781	117	51	3,111		
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。 ※	4.22	-	6.3%	20.7%	69.4%	2.6%	1.0%	195	645	2,159	80	31	3,110		
	3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.37	84.9%	55.1%	29.7%	12.9%	1.8%	0.4%	1,714	925	402	56	13	3,110	
		10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.21	78.4%	51.0%	27.3%	15.2%	4.9%	1.6%	1,586	850	472	151	50	3,109	
		11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.25	79.2%	52.1%	27.2%	15.8%	3.6%	1.4%	1,619	844	491	111	43	3,108	
		12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.19	76.0%	48.6%	27.4%	19.9%	2.9%	1.3%	1,512	851	619	89	39	3,110	
13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。		4.24	78.0%	49.8%	28.2%	18.8%	2.7%	0.5%	1,548	877	585	83	17	3,110		
14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。		4.31	80.2%	53.6%	26.6%	17.1%	2.2%	0.5%	1,667	827	531	67	17	3,109		
15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。		4.24	77.5%	49.4%	28.1%	19.8%	2.0%	0.7%	1,537	875	617	62	21	3,112		
4 教育効果について	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.34	82.0%	55.5%	26.5%	15.6%	1.8%	0.7%	1,728	823	484	55	21	3,111		
	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	4.13	76.0%	39.7%	36.3%	21.5%	2.0%	0.5%	1,232	1,128	669	62	15	3,108		
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.18	76.9%	45.3%	31.6%	19.5%	2.7%	1.0%	1,408	981	605	83	30	3,107		
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.22	78.2%	48.6%	29.6%	18.3%	2.6%	0.9%	1,510	921	568	80	29	3,108		

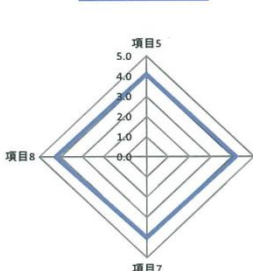
※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい  
平均：⑤「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

### ■ 設問項目別平均グラフ

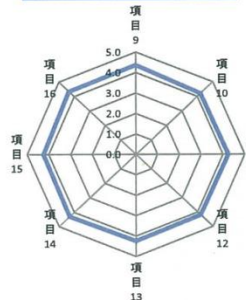
#### 1. あなた自身について



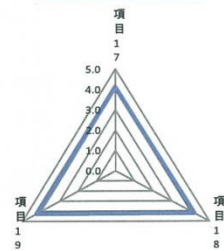
#### 2. 授業について



#### 3. 授業方法、教員について



#### 4. 教育効果について



## 2017年度後期 学生による授業アンケート集計結果

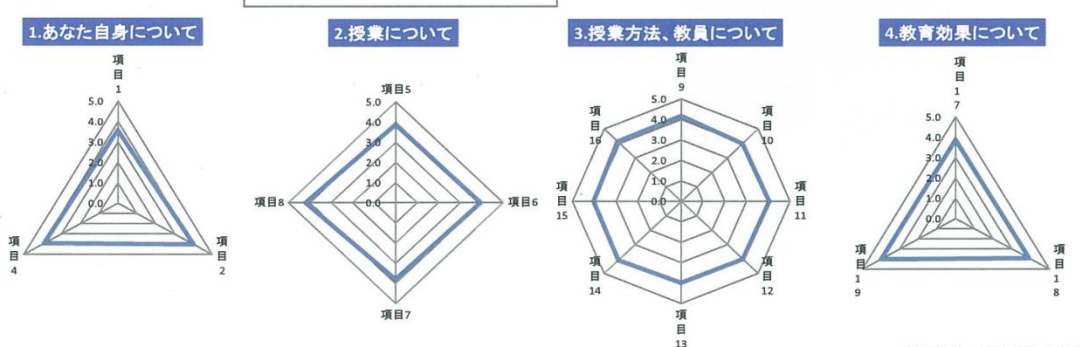
**全体集計 (短大)**  
 ■ 受講者数 10,166名  
 ■ 回答者数 7,839名  
 ■ 回答率 77.1%

※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	短大平均	肯定回答率	割合					件数					合計	0% 25% 50% 75% 100%
				⑤ ④ ③ ② ①	⑤ ④ ③ ② ①	⑤ ④ ③ ② ①	⑤ ④ ③ ② ①	⑤ ④ ③ ② ①							
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.58	50.7%	19.5%	31.2%	40.9%	4.8%	3.6%	1,524	2,447	3,205	379	279	7,834	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.03	69.3%	36.6%	32.7%	28.4%	1.8%	0.5%	2,858	2,560	2,222	142	37	7,819	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	5.0%	4.9%	18.6%	24.9%	46.6%	390	387	1,458	1,948	3,645	7,828	
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	3.92	63.3%	34.1%	29.1%	32.4%	3.3%	1.0%	2,668	2,279	2,535	257	82	7,821	
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	3.88	63.3%	29.8%	33.4%	32.9%	2.8%	1.0%	2,337	2,617	2,578	220	80	7,832	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか?	3.96	66.4%	32.6%	33.8%	30.8%	1.9%	0.8%	2,557	2,649	2,415	151	64	7,836	
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.80	59.2%	30.2%	29.0%	33.7%	5.2%	2.0%	2,363	2,270	2,634	404	154	7,825	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.19	-	7.1%	22.1%	67.7%	2.3%	0.8%	555	1,730	5,297	179	64	7,825	
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.17	76.4%	44.7%	31.7%	20.4%	2.3%	0.9%	3,501	2,481	1,596	178	73	7,829	
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	3.99	69.2%	38.8%	30.3%	24.2%	4.5%	2.0%	3,040	2,375	1,897	356	160	7,828	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.05	71.0%	41.6%	29.4%	23.4%	4.1%	1.5%	3,257	2,301	1,835	318	120	7,831	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.01	68.8%	39.3%	29.5%	26.0%	3.7%	1.5%	3,076	2,309	2,033	288	120	7,826	
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	3.98	67.1%	38.1%	28.9%	27.6%	3.6%	1.7%	2,986	2,265	2,162	284	131	7,828	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.07	70.9%	41.3%	29.6%	25.3%	2.5%	1.3%	3,235	2,318	1,978	195	103	7,829	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.02	67.9%	38.9%	28.9%	28.2%	2.7%	1.3%	3,047	2,264	2,207	210	99	7,827	
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.13	72.5%	44.4%	28.1%	24.6%	1.9%	1.0%	3,466	2,199	1,923	148	79	7,815	
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.88	63.7%	28.9%	34.8%	33.1%	2.3%	1.0%	2,261	2,718	2,583	176	75	7,813	
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	3.91	63.7%	32.6%	31.1%	31.9%	3.0%	1.3%	2,551	2,430	2,495	238	104	7,818	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	3.99	67.7%	35.6%	32.0%	28.8%	2.3%	1.2%	2,783	2,501	2,251	181	94	7,810	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい平均、「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■設問項目別平均グラフ





## 【授業アンケートによる自己点検報告書】(平成29年度後期)

所属学科		教員氏名	
授業科目名		授業形態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
<b>【授業アンケートによる自己点検内容】</b>			
<p>前回のアンケート結果を受けて、今年度新たに①“改善を試みた点”、今回の授業アンケート結果から、②“優れていた点”および③“改善すべき点”を中心に記入してください。</p>			
①			
②			
③			
<p>総合評価として、当てはまるものに○を付けてください。          あなたは、この授業のシラバスに記載した到達目標を学生に達成させることができましたか。</p> <p>5 できた    4 ある程度できた    3 どちらともいえない    2 あまりできなかった    1 できなかった</p>			

## 4. F D 研修会関係

平成29年度は計3回のF D研修会を開催した。

実施日と主な内容や実施した成果を示す資料を次頁以降に掲載する。

なお、各研修・勉強会の参加人数は以下の通りであった。

(事務職員も含む。)

第1回研修会 (10月18日)	47名
第2回研修会 (12月20日)	45名
第3回研修会 (3月9日)	53名



岡崎女子大学  
OKAZAKI WOMEN'S UNIVERSITY  
岡崎女子短期大学  
OKAZAKI WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

平成29年9月20日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 教員各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学  
学長 林 陽子

平成29年度FD研修会について（ご案内）

平素はFD委員会の活動にご理解賜り、ありがとうございます。

下記のとおり、平成29年度FD研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時： 第1回 平成29年10月18日（水） 13:10～14:10  
第2回 平成29年12月20日（水） 13:10～14:10  
第3回 平成30年3月9日（金） 13:10～14:10  
※10月18日・12月20日の「教職員連絡会」は14:15～の開催となります。
- 2 場所： 第1回 ラーニングプラザ  
第2回 ラーニングプラザ  
第3回 6212教室
- 3 内容： 第1回 研修テーマ  
「アクティブ・ラーニングと高等教育」  
講師 大倉 健太郎教授  
第2回 研修テーマ  
「専門教育と教養教育の連携」  
講師 小宮 富子教授  
第3回 研修テーマ  
「今後の地方大学のあるべき姿、生き残る方策とは」  
講師 澤 圭一郎氏（毎日新聞東京本社 論説員）

【問い合わせ先】

FD研修会WG 大倉 (内線 6322)  
教務課 加藤 (内線 2024)

以上

平成29年度第1回FD研修会（10月18日開催）

氏名： \_\_\_\_\_

担当科目名： \_\_\_\_\_

1. 授業で用いられているアクティブラーニングの事例と、その目的ないし方法についてご紹介ください。

2. アクティブラーニングに対する自身の課題について、ご説明ください。  
(アクティブラーニングを用いることの難しさや自身の課題についてご記入ください)

12月20日FD研修会(専門教育と教養教育の連携)アンケート

お名前 ( )

本学(大学・短大)の今後の教養教育のあり方についてご意見をお聞かせ下さい。

今回のFD研修会についてご意見をお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成29年度第3回FD研修会（3月9日開催）

氏名： \_\_\_\_\_

1. 今回のFD研修会を終えて、気づいたこと、感じたことをお書きください。

2. 今後のFD研修会で取り上げてほしいテーマがあればお書きください。

## 平成29年度第3回FD研修会 講師招聘コメント

### 岡崎女子大学（教員）

- ・大学の破綻処理が本気で進められていることを再確認した。岡崎市をはじめ近隣の市町村との連携をすすめ、地方創生と社会のあり方と大学のあり方を融合的かつ発展的に見据えた上での協力協働が必要であることを再確認した。
- ・「ウリになる教育と社会貢献」、「看板学科」の内部充実とアピール等、いっそう本気度が試されると感じた。
- ・研究ブランディング事業と「普遍的な研究成果」を生み出すチャンスにしたい。
- ・外部の方から大学の諸問題について、複合的視点からお聞きすることができて、有意義でした。
- ・地方大学の生き残りのため、収益性を上げていくこと、メディアを活用すること、広報の力の重要性などを確認できました。
- ・近大が週4件もメディアに情報を送ってくるという話は刺激だったと思います。
- ・社会の流れや文科省の意向などをふまえた、とてもわかりやすいご説明で大変参考になりました。特に、「新しいことにチャレンジする」のなかで「挑戦型が好まれる」のところが印象的で、これからの学生教育や研究する上で心にとめて努力したいと思いました。
- ・外部の「眼」の重要性にあらためて気づかされました。
- ・教職員が同じ方向を向くこと、共通理解の上で学校運営をすること、大学も中学校も同じように最重要であることを改めて考えさせられました。
- ・新しいことにチャレンジする、これは人の生き方にも通じる大切なキーワードでしょう。
- ・地方私立大学のあるべき姿の5項目は、うなずけることばかりでした。すぐに実行したくなることばかりでもあり、今後に夢を描くことにつながりました。
- ・チャレンジを続けていきたい。
- ・具体的でわかりやすく、10年先、20年先を見通した内容でためになりました。
- ・良い時期（適切な）に良質の情報が得られた。先代の学長の時代から広報の大切さを訴え続けてきたが、その持論が本学の為に最も大切であることが確認できた。
- ・アイデアとセンス！！その差が生き残りの道だ。
- ・挑戦の意味を自分なりに考えていきたいです。
- ・大学のあるべき姿について、わかりやすく興味関心をかきたてるようなお話でとても勉強になりました。
- ・最新の中央の動向を踏まえ、本学の課題解決に向けての視点を頂きました。ありがとうございました。
- ・本学の課題が大きいことがわかりました。



- ・社会から大学がどう見られているのかがわかり、勉強になりました。
- ・情報は色々入りますが、端的な説明でとても分かりやすかったです。
- ・最先端の情報が聴けて、とてもよかったです。
- ・大変刺激的な内容で、色々考えさせられ、モチベーションも上がりました。私は父が新聞記者だったため、澤先生が洞察されたような事実の裏読み、活用を強いられて育ち、懐かしさもありました。大学人としては、文科行政にもっとフォーカスを当て、学生教育につながる教学運営、研究を進めていかなければならないと感じました。
- ・医療改革（社会福祉法人）と大学改革（地方の大学）のロジックは同じであることがわかった。
- ・地方大学ならではの良さを活かすことが生き残る道だと感じた。本学に足りないものは、広報部門ではないか。
- ・挑戦型になる、育てる、自分の言葉で考えて話せる学生を育てる環境のひとつが自分だという自覚をもって働かなければならないと感じました。
- ・広報にもっと力を入れていくことが本学でもできればよいと思いました。

### 岡崎女子短期大学（教員）

- ・文科省の規制によって我々教員の頭が固定観念の固まりになっていると痛感した。外部の人材の経営陣への導入は同感である。
- ・自分の立場、役割の重大さを感じ入りました。
- ・職員間の意志統一が必要かと考えました。
- ・〈地方私立大学の今後の姿〉のなかで、「留学生・社会人にシフトして生き残り」として、社会人の学びの場が出ていました。「過去に大学・短大で学んだことが役に立たない AI 社会で、最新の情報を差上げます」との話がありました。「最新の情報」という知識ではなく、「人生 100 年社会」で実績を持った人がさらに業績を上げるために必要な「性格カスキル（リカレント教育）」こそ大学に求められていると感じました。
- ・人口減、高齢化の進むなかで、高等教育の精選が起これると思います。現在ある体質を残すことはできないと感じました。
- ・本日の話は納得できる内容で同感です。問題は、これを踏まえて具体的に何をするかですが…。
- ・地方大学のおかれている現状と今後の変革に向けての戦略のポイントに関する論点が整理できました。
- ・地方の私立大学の進むべき方向について、非常にわかりやすく説明頂いた。
- ・とても興味深い。FD というより、こうした大学環境の変化についての研修の方が効果的だと思う。教職員に危機感がないから。
- ・今まで最も納得した研修会でした。広い視野で見ることの大切さを知りました。あとは業務や研究に落とし込む作業が待っています。大変ですがやらないといけません。
- ・最後の「ニュース性」の話が最もおもしろかった。
- ・本学に足りないものにあらためて気づかされる研修会でした。「目指す方向が同じかどうか」ということがカギになるというお話がありました。そこが不安なのだと思います。機構改革など学長のリーダーシップが行われるのは理解できますが、現状は現場の教員の信念やチャレンジが尊重されているとは感じられません。教員が大学のために、ひいては地域のために役立っていると実感できる大学になって欲しいという思いがさらに強くなりました。また、個人的には常々社会人向け、シニア向けの教育を本学でも推進していくべきだとあらためて思いました。
- ・今後も生き残る岡短、岡女を考える上で、非常に示唆に富んだ研修会であった。特に、印象に残ったことは、広報権限の強化である。本学は近畿大学とは規模は異なるものの、近畿大学の 365 日プレスリリースや、広報課職員の裁量と権限強化については学ぶところがあると思う。本学の先生方が持つ研究や教育に関するポテンシャルはあるものの、それを広報する術が限られており、現在はそれが必ずしもうまく広報できていないように思われる。組織的なことは二の次として、現在の姿から一歩でもより良いものを目指

して、学生募集に繋がる広報を真剣に考えるよい機会となった。

- ・澤さんをご存知の成功している同規模大学の事例などお聞かせください。
- ・地域のニーズに添えていくことが、地域に必要とされる大学になると感じた。地域のニーズを正しくつかむためには、地域を知らなくてはいけない。
- ・客観的な視点で未来についてイメージすることができた。「地方創生」について、自治体に提案できるくらいの活発な活動が必要。
- ・大学として対外的に発信できる状況にもっていくことがまず必要だと感じた。
- ・やはり重要なのは教員、職員の意識だと思う。しかし、それがとても難しい（HOW TOでは難しい）。それでも、意識を高めるコツや方法は抑えておき、それをもとに少しずつ高めていくことが長期的にも重要だと思う。
- ・大学の外の視点、社会からみた大学、大学になにが求められるのか、という話を聞くことができてよかった。
- ・どんな学生を育成したいか、というところは教職員みんなで議論して、目標を共有していけるとよいと思いました。
- ・今後、取り組まなければならないことを具体的に考えるきっかけになりました。
- ・様々な問題があるなか、これからやるべきこと、チャレンジすることなど学ぶことができました。自分ができることを見極めて、地域に発信していきたいと思います。
- ・私立大学が生き残るのは、やはり教育力だと感じました。どんな学生を育てていくかを大学全体で共通理解にしていく必要があると思います。
- ・印象に残ったのは「挑戦」という言葉です。教員も職員も学生も、挑戦していける環境が必要と強く思います。挑戦を後押しできる仕組み作りが求められているのだと思います。

## 事務職員

- ・頂いたレジュメの一行一行がごもっともなご意見であり、今後折りに触れて参考にし、実践していきたい。
- ・高等教育の無償化において、大学に色をつける財界の圧力。
- ・四大の進学率を 80%（韓国なみ）以上に上げたい→大学がなんとか生き残れるのでは。
- ・私立大学の公立化→地方自治体との良好な関係が不可欠。
- ・日本は社会人学生が少ない→社会人学生の確保は大学にとってメリットが大きい。
- ・職員の熱を感じる大学、教職共同の大切さ。
- ・職員がいかにセンスをもっているか。
- ・本学のウリ、いまの保育士不足の社会へのアピール。
- ・離職率をさげる、これが大切。
- ・社会的流れを配慮した基本的な知識を知ることができました。進路支援からキャリア支援へ広げていく必要性も感じました。
- ・大学の今後の生き残る方策として、具体的な事例や方法を非常にわかりやすく説明頂き大変ためになった。進路としては卒業生フォローアップを続けていくことは大学の強みとして非常に重要だと感じた。
- ・やらなければならないと思っていたこと、やりたいと思っていたことをあらためて教えて頂きました。
- ・「保育に特化した大学」と言わせない様に、現代ビジネス学科の再生に全力を注ぎたいです。

## 5. 授業公開関係

関係資料を次頁以降に掲載する。



平成29年4月18日

 岡崎女子大学  
 岡崎女子短期大学  
 専任教員 各位

 岡崎女子大学  
 岡崎女子短期大学  
 学長 林 陽子

## 平成29年度 授業公開の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業公開を下記の実施内容のとおり行います。

## ◆実施内容

## (1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は各期1回以上(1年間2回以上)、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

## (2) 授業公開－参観の方法

公開前	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参観する教員(以下:参観者)は、事前に公開する教員(以下:公開者)に参観を依頼する(方法は口頭、Eメールなど各先生にお任せします)。</li> <li>・授業内容(シラバス)に基づき、参観する日時を調整する。</li> <li>・公開者は授業内容について知らせ、学生に配布される教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。</li> </ul>
公開日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公開者は、授業公開を行う授業を受講している学生に、実施について伝達する。</li> <li>○参観者は対象授業を原則90分間、参観する。</li> </ul>
公開後	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参観者は、直ちに参観後「授業公開コメント・自己評価用紙(上部)」に感想等を記入し、公開者に提出する(メールなど方法は各先生で調整してください)。 <b><u>また、あわせて教務課にも提出する。</u></b></li> <li>○公開者は、「授業公開コメント自己評価用紙」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業公開コメント・自己評価用紙(下部)」に改善点等を記述する。記入後は教務課に提出する。</li> </ul>

\*授業公開コメント・自己評価用紙はHot Biz(「キャビネット」→「FD委員会」)からダウンロードすることができます。

なお、提出された授業公開コメント・自己評価用紙から、FD研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしくお願ひします。

◇問い合わせ先

FD委員会

 岡崎女子短期大学 大倉 健太郎 (内線 6322)  
 教務課 加藤 淳 (内線 2025)

平成29年4月19日

 岡崎女子大学  
 岡崎女子短期大学  
 非常勤講師 各位

 岡崎女子大学  
 岡崎女子短期大学  
 学長 林 陽子

## 平成29年度 授業公開の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業公開を下記の実施内容のとおり行います。

## ◆実施内容

## (1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は各期1回以上（1年間2回以上）、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

## (2) 授業公開－参観の方法

公開前	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参観する教員（以下：参観者）は、事前に公開する教員（以下：公開者）に参観を依頼する（方法は口頭、Eメールなど各先生にお任せします）。</li> <li>・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。</li> <li>・公開者は授業内容について知らせ、学生に配布される教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。</li> </ul>
公開日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公開者は、授業公開を行う授業を受講している学生に、実施について伝達する。</li> <li>○参観者は対象授業を原則90分間、参観する。</li> </ul>
公開後	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参観者は、直ちに参観後「授業公開コメント・自己評価用紙（上部）」に感想等を記入し、公開者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。</li> <li><b><u>また、あわせて教務課にも提出する。</u></b></li> <li>○公開者は、「授業公開コメント自己評価用紙」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業公開コメント・自己評価用紙（下部）」に改善点等を記述する。記入後は教務課に提出する。</li> </ul>

\*授業公開コメント・自己評価用紙は、教務課にてお渡しいたします。（担当：加藤）  
 授業公開コメント・自己評価用紙はメールでの提出も可能です。用紙のフォーマットを送信致しますので、教務課 加藤（a\_kato@okazaki.ac.jp）までご連絡下さい。

なお、提出された授業公開コメント・自己評価用紙から、FD研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしく願います。

## ◇問い合わせ先

FD委員会

 岡崎女子短期大学 大倉 健太郎（内線 6322）  
 教務課 加藤 淳（内線 2025）



## 平成 29 年度 授業公開コメント・自己評価用紙

記入日： 年 月 日

参観者	所属		氏名	
公開－参観日	月 日 ( ) 限目			
授業科目		授業担当者		

## I. この授業で印象に残った点についてご記入ください。【参観者記入】

## II. 上記コメントを参考に、この授業の自己評価についてご記入ください。【公開者記入】

\*ご協力ありがとうございました。記入後は教務課（担当：加藤淳）まで提出してください。  
 なお、ご不明な点は、FD委員会までお問い合わせください。

## 「授業公開」実施結果

	日付	時限		授業科目名	形態	参観者	授業担当者
1	4月5日	1	大学	保育原理	講義	白垣	矢藤
2	4月10日	1	短大	教育原理	講義	櫻井	大倉
3	4月22日	3	短大	健康とスポーツ(実技)	実技	真木	鳥居
4	5月16日	5	短大	児童文化演習Ⅰ	演習	鈴木穂	櫻井
5	5月19日	2	大学	実践音楽演習	演習	妹尾	北浦・平尾・堀
6	5月25日	4	大学	児童文学	講義	赤羽根	上田
7	6月1日	2	短大	幼児体育Ⅰ	演習	小野	山下
8	6月7日	2	短大	キャリアデザインⅠ	講義	祝田	市原
9	6月8日	4	大学	児童文学	講義	上田	赤羽根
10	6月9日	2	短大	保育実習指導Ⅰ	演習	吉村	権
11	6月20日	5	短大	CADオペレーションⅡ	講義	市原	町田
12	6月22日	4	大学	基礎音楽Ⅲ	演習	滝沢	北浦・佐藤・西濱・白鳥
13	6月22日	4	短大	マネジメント論	講義	鈴木仁	祝田
14	6月26日	4	大学	体育Ⅰ	演習	仲田	小野
15	6月28日	3・4	大学	基礎音楽Ⅲ	演習	山田悠	北浦・佐藤・西濱・原田・白鳥
16	7月4日	2	大学	女性のキャリアとマナー	演習	岸本	山田千
17	7月6日	2	大学	保育内容演習「健康」	演習	大岩	和田
18	7月7日	2	大学	実践音楽演習	演習	長柄	北浦・平尾・堀
19	7月10日	2	大学	幼児音楽Ⅰ	演習	平尾	長柄・堀
20	7月10日	2	短大	会計学入門	講義	黒野	河合
21	7月10日	3	短大	保育内容総論	演習	大倉	野田美
22	7月13日	3	大学	相談援助Ⅰ	演習	林	権
23	7月13日	5	短大	レクリエーション演習	演習	梅下	小野
24	7月14日	1	大学	造形Ⅲ	演習	北浦	佐善
25	7月14日	2	短大	診療報酬請求論Ⅰ	講義	河合	黒野
26	7月14日	4	大学	教育実習指導Ⅰ	演習	小原	岸本
27	7月14日	4	大学	教育実習指導Ⅰ	演習	鈴木方	岸本
28	7月17日	1	大学	造形Ⅰ	演習	横田	佐善
29	7月17日	2	短大	教育実習(事前・事後指導を含む。)	実習	林	櫻井
30	7月17日	3	大学	体育Ⅰ	演習	蜂須賀	小野
31	7月17日	4	大学	体育Ⅰ	演習	花田	小野
32	7月19日	1	短大	外国語コミュニケーションⅠ	演習	小宮	船井

## 「授業公開」実施結果

33	7月20日	2	短大	保育内容総論	演習	丸山	櫻井
34	7月21日	1	大学	造形Ⅲ	演習	米窪	佐善
35	11月23日	3	大学	児童文化	演習	中田	上田
36	12月11日	3	大学	体育Ⅱ	演習	山下	小野
37	12月12日	2	短大	幼児体育Ⅱ	演習	山下	中田伸
38	12月12日	2	短大	幼児体育Ⅱ	演習	平尾	中田伸
39	12月12日	4	短大	幼児音楽Ⅱ	演習	妹尾	平尾・滝沢
40	12月12日	5	大学	教育人間学	講義	大岩	中田
41	12月14日	1	短大	診療報酬請求実務Ⅰ	講義	河合	黒野
42	12月14日	4	大学	保育・教職実践演習(幼)	演習	鈴木穂	赤羽根・鈴木方
43	12月18日	2	短大	教育実習	実習	笹瀬	西川
44	12月18日	2	大学	体育Ⅱ	演習	蜂須賀	小野
45	12月19日	3	短大	病院会計	講義	黒野	河合
46	12月19日	5	大学	教育人間学	講義	鈴木方	中田
47	12月21日	1	短大	CADオペレーションⅡ	講義	市原	町田
48	12月21日	3	短大	専門ゼミナールⅠ	演習	鈴木仁	町田
49	12月22日	2	短大	文章表現応用	演習	真木	鈴木仁
50	12月22日	2	大学	教育と発達心理学Ⅱ	講義	北浦	小原
51	12月6日	3・4	短大	幼児音楽Ⅱ	演習	山田悠	妹尾・滝沢・平尾
52	12月25日	4	大学	コミュニケーション演習	演習	上田	岡本伸
53	12月26日	1	大学	音楽Ⅱ	演習	小原	北浦・市川・佐部利・堀
54	1月12日	3	短大	保育相談支援	演習	築山	山田光
55	1月12日	3	大学	教育と発達心理学Ⅱ	講義	岸本	小原
56	1月12日	3	大学	高齢社会と福祉	講義	権	仲田
57	1月16日	3	短大	発達と教育心理学	講義	大倉	丸山
58	1月16日	2	大学	音楽Ⅱ	演習	長柄	北浦・市川・佐部利・堀
59	1月16日	2	大学	音楽Ⅱ	演習	祝田	北浦・市川・佐部利・堀
60	1月13日	4	短大	保育実習指導Ⅰ	演習	吉村	仲田
61	1月19日	2	大学	英語Ⅱ	演習	小宮	加藤み
62	1月11日	1	短大	基礎音楽Ⅱ	演習	野田	滝沢・大山・原田
63	1月18日	3	短大	幼児造形Ⅰ	演習	丸山	横田
64	1月18日	3	大学	保育・教職実践演習(幼)	演習	矢藤	赤羽根・鈴木方
65	1月19日	3	大学	障がい児保育Ⅱ	演習	梅下	白垣
66	12月25日	4	大学	コミュニケーション演習	演習	赤羽根	岡本伸
67	12月25日	4	大学	コミュニケーション演習	演習	宇都宮	岡本伸

## 「授業公開」実施結果

68	1月25日	2	短大	家庭支援論	講義	山田光	細江
69	1月18日	2	大学	造形Ⅳ	演習	花田	佐善
70	1月29日	1	短大	パフォーマンスボディ	演習	滝沢	山田悠
71	2月20日	1	大学	地域貢献とボランティア	演習	矢藤	権・宇都宮・蜂須賀
72	12月18日	2	大学	体育Ⅱ	演習	仲田	小野
73	2月27日	1~4	大学	地域貢献とボランティア	演習	小野	権・宇都宮・蜂須賀
74	1月11日	3	短大	保育カウンセリング	演習	白垣	梅下
75	1月12日	3	短大	児童文学	講義	林	鈴木穂
76	1月22日	3	短大	幼児造形Ⅰ	演習	横田	米窪

## 6. ICT利用促進関係

関係資料を次頁以降に掲載する。



## ICT利用促進WGからの報告（まとめ）

### （平成29年度 第2回大学・短大FD委員会 議事録より抜粋）

- 日時 平成29年5月17日（水）15時17分～16時22分
- 場所 2713会議室
- 出席者 大 学・・・小宮、小原、白垣  
短 大・・・大倉、市原、河合、鈴木穂  
欠席・・・永井副理事長、仲田  
記録者・・・加藤

#### ■その他

（ICT利用促進WG）委員長から、教務システムの導入と、情報教育に関する授業設備の改善について検討してほしいと発言があった。

### （平成29年度 第4回大学・短大FD委員会 議事録より抜粋）

- 日時 平成29年7月12日（水）16時33分～17時43分
- 場所 2713会議室
- 出席者 大 学・・・小宮、小原、白垣、仲田  
短 大・・・大倉、市原、河合、鈴木穂  
欠席・・・永井副理事長  
記録者・・・加藤

#### ■報告事項

### 3 ICT利用促進WGからの報告（小原・河合）

河合委員から、教室等設備についてのアンケート実施を検討していることが報告された。



## おわりに ～FD活動の次年度の課題について～

FD委員会

「はじめに」の最後にも記述したとおり、建学の精神から3ポリシー、カリキュラムから教育内容・方法及び学修指導等の改善につながる構造の共通理解をもとに、各科目の授業内容の検証を授業アンケートから、学生生活全般の検証を学生満足度アンケートから行い、IRの設置などにより、調査結果の分析・評価を各学科や関係部署に伝達し、授業運営や学修環境、学生の理解度等の具体的な課題を共有し解決していく体制づくりが必要との認識について、FD研修会等にて確認しあってきたが、30年度よりIR推進室が設置されることとなった。

次年度については、引き続き「授業アンケート」「授業参観(30年度より名称変更)」 「FD研修会」の実施にあたって、FD委員会の中のワーキンググループが中心となって企画し、FD委員会での検討を経て教授会、学部・学科会議で周知し全学的に実施していく。また、実施された取り組みの結果は、授業担当者及び関係部署に適宜フィードバックし、情報の共有化とともに共通認識の醸成が図られるように啓発していく。また、FD委員会を中心に、関係部署との連携体制のもと課題の解決に向けて継続的に検証していく必要がある。

以上の様なこれまでのFD活動を踏まえ、平成29年度の活動成果として追記すると、①FD活動強化のため、委員会をほぼ1ヶ月に1回開催したこと、②28年度に引き続き、4WG(授業アンケートWG、FD研修会WG、授業公開WG、ICT利用促進WG)での活動を継続したこと、③授業アンケート記入用紙の改善に向けて、ディプロマポリシーに関する質問項目の見直しを行ったこと、④「授業公開」の改称と、コメントの提出形態及びフォーマットの改善を行ったこと等が挙げられる。

次年度の課題としては、継続的に教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るため、FD委員会として、29年度に質問項目の見直しを行った「授業アンケート」の結果についての詳細な分析に基づく考察を行い、現状の把握とともに今後のFDに関する取り組みに活かすための情報を整理し、授業内容や授業を取り巻く環境等の有効な改善策につなげていくことである。このことを意識しながら、教育方法の共有とそこからの学びにつなげる「FD研修会」を実施したり、豊富なデータに基づくエビデンスの共有が可能な「FD活動・研究報告書」の作成を継続して行い、その報告書の開示を通してより効果的なFDに関する取り組みを検討することが求められる。そして、これらのミッションを確実に継続実施することで、大きな効果を上げられると考えている。

最後に、次年度の研修課題の一つとして、「障がいと理由とする差別の解消の推進に関する法律」への対応についての関係部署との連携を図ることが挙げられる。また、FDに関する全学的な取り組みが効果的に実施されるように、学長及び学長室会議とFD委員会をよりリンクさせた体制づくりが望まれよう。